

瀬戸内国際芸術祭2016

Setouchi Triennale 2016

総括報告

2017年1月10日

瀬戸内国際芸術祭実行委員会

目 次

1	開催概要	1
2	概況	2
3	アートサイト	3
4	来場者の状況	13
5	イベントの開催状況	20
6	地域活性化に向けた取組み	23
7	芸術祭開催による効果	28
8	芸術祭に対する島民の評価等	31
9	ボランティアサポーターの活動	39
10	広報の状況	41
11	交通の状況	52
12	ツーリストへの対応	59
13	チケット・グッズ等	61
14	寄付・協賛の取組み	62
15	実行委員会の収支状況(見込み)	63
16	他地域との連携	64

1 開催概要

名 称	瀬戸内国際芸術祭 2016 Setouchi Triennale 2016	
開催期間	春：2016年3月20日（春分の日）～4月17日（日）	29日間
	夏：2016年7月18日（海の日）～9月4日（日）	49日間
	秋：2016年10月8日（土）～11月6日（日）	30日間
会 場	直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島（春）、 本島（秋）、高見島（秋）、粟島（秋）、伊吹島（秋）、 高松港周辺、宇野港周辺	
テ ー マ	『海の復権』	
主 催	瀬戸内国際芸術祭実行委員会	
	会長	：浜田恵造（香川県知事）
	名誉会長	：真鍋武紀（前香川県知事）
	副会長	：竹崎克彦（香川県商工会議所連合会会長） 大西秀人（高松市長）
	顧問	：梅原利之（四国旅客鉄道株式会社顧問）
	総合プロデューサー	：福武總一郎（公益財団法人福武財団理事長）
	総合ディレクター	：北川フラム（アートディレクター）
	構成団体	：以下 47 団体 香川県、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、三豊市、土庄町、 小豆島町、直島町、多度津町、玉野市、（公財）福武財団、（公財） 福武教育文化振興財団、香川県市長会、香川県町村会、四国経済 産業局、四国地方整備局、四国運輸局、国立療養所大島青松園、 四国経済連合会、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、 （一社）香川経済同友会、香川県農業協同組合、香川県漁業協同組 合連合会、香川大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学、 香川県文化協会、（公財）四国民家博物館、（公社）香川県観光協会、 （一社）日本旅行業協会中国四国支部香川地区委員会、（公財）高松 観光コンベンション・ビューロー、香川県ホテル旅館生活衛生同 業組合、四国旅客鉄道(株)、高松琴平電気鉄道(株)、香川県旅客船協 会、（一社）香川県バス協会、香川県タクシー協同組合、（公財）香 川県老人クラブ連合会、香川県婦人団体連絡協議会、（公社）日本 青年会議所四国地区香川ブロック協議会、香川県青年団体協議会、 さぬき瀬戸塾、(株)百十四銀行（監事）、(株)香川銀行（監事）
	オブザーバー	：以下 3 団体 岡山市、岡山県商工会議所連合会、岡山大学

2 概況

瀬戸内国際芸術祭 2016 は、これまでの芸術祭に引き続き、「海の復権」をテーマに、瀬戸内海の 12 の島々（直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島）と 2 つの港（高松港、宇野港）周辺を舞台に、会期を春、夏、秋の 3 つに分けて、2016 年 3 月 20 日から計 108 日間開催した。

今回の芸術祭では、さらに魅力ある作品・イベントの展開に加え、特に「海でつながるアジア・世界との交流」、「瀬戸内の「食」を味わう食プロジェクト」、獅子舞や盆栽など「地域文化の独自性発信」にも重点的に取り組んだ。

来場者数については、3 会期合わせて 100 万人を超える多くの来場者があり、アート作品の数々と瀬戸内海の島々の自然や文化を体感するという瀬戸内国際芸術祭の独特のスタイルが、国内外の多くの皆様に共感をいただいたものと考えられる。

来場者の状況としては、外国からの来場者の割合が大きく伸びており、これは高松空港の国際線ネットワークの充実に加え、芸術祭が回を重ねることで海外での知名度が向上したことなどが考えられる。また、これまでの芸術祭にも来場したことのあるリピーター来場者の増加とともに、来場者の平均滞在日数も延びてきている。さらに、芸術祭以外の観光地を訪問した来場者も増加している。

また、大勢の来場者が訪れることにより、会場となった島々がにぎわうとともに、地域活性化に向けた様々な取組みが島々で現れたことや、新聞・テレビ・雑誌等の各種メディアで多数取り上げられ、本県の知名度やイメージのアップが図られるなど、多くの成果が得られた。

特に地域の方々には、アーティストとの協働による作品制作や受付、地域の特色を活かした食の提供やお接待のほか、港での島を挙げてのあたたかい出迎え、見送りなど、多くの方々に関わっていただき、芸術祭を一緒になって作り上げ、盛り上げていただいた。地域の活性化や再生につながるこうした取組みが増え、着実に根づいてきている。

3 アートサイト

(1) 重点プロジェクト

① 海でつながるアジア・世界との交流

- 7月18日(海の日)から8月7日(日)までの3週間にわたり、高松港周辺において、「瀬戸内アジア村」を開催し、タイから来日した職人やアーティストにより工芸品や民芸品の制作実演、展示、販売等を行う「タイファクトリーマーケット」、アジアの12の国と地域から大道芸やダンスなどのパフォーマーが集結し、高松港の大型テント広場で公演を行う「Asia Performing Arts Market in Setouchi 2016 (APAMS2016)」、さらには、注文するにも日本語や英語が通じない「ALL AWAY CAFÉ」を展開し、海でつながるアジアの雰囲気存分に堪能いただいた。



タイファクトリーマーケット



APAMS2016



ALL AWAY CAFÉ

- また、APAMS2016に参加したパフォーマーは各島に渡り、ワークショップや実演披露を行うなど各島で交流活動を展開した。
- アートによる地域づくりとしての瀬戸内国際芸術祭の取組みが海外からも注目されてきている状況を踏まえ、アジアを中心とする各国・地域でアートによる地域づくりに取り組む人々が共に集い、学び合い、語り合う「瀬戸内アジアフォーラム」を、かがわ国際会議場及び福武ハウス(小豆島)において、10月17日(月)から21日(金)までの5日間にわたり開催した。

② 瀬戸内の「食」を味わう食プロジェクト

- 各島等において、食を通じた地域活性化を支える人材を育成するための講座（「瀬戸内『食』のフラム塾」）の修了生を中心に、島の食材や食文化を活かした食プロジェクト企画を展開した。

会場	展開場所（企画名）	料理内容
豊島	イルヴェント	・ごう汁、さくら寿司のセット（春会期） ・豊島のお母さんの味！ばら寿司とそうめん汁セット（夏会期） ・豊島の秋を感じる黒豆ご飯と島野菜のお惣菜セット（秋会期）
女木島	レストラン イアラ 女木島	瀬戸前寿司と女木島キュージーヌのランチセット（季節のスープ付き）
小豆島	せとうちのずかん	小豆島産の果物や野菜をふんだんに使用した生搾りジュース
	ei カフェ （本からうまれる一皿 ～壺井栄と庚申の夜～）	壺井栄文学と島の食産業をあわせたワンプレート
大島	カフェ・シヨル	大島で採れた果物や野菜を使った焼き菓子や生菓子
本島	島娘	たこ飯や鯛カツ丼など、本島近海のとれたて魚介類を活かした料理
高見島	海のテラス	・讃岐の夢のフェットチーネ（海老と白味噌のジェノベーゼソース） ・讃岐の夢のタリオリーニ（きのこ鶏肉のトマトソース）
粟島	粟島もんでクルー食堂	炊き込みご飯をはじめとした三豊の新鮮な魚介類や野菜をふんだんに使ったメニュー
伊吹島	うららの台所	うららの玉手箱 （いりこ飯や旬魚のお造り、南蛮漬けなどを木箱に詰め込んだお弁当）
高松港周辺	栗林公園（讃岐の晩餐会）	新鮮な魚介類や野菜など、県産食材をふんだんに使ったコース料理
宇野港周辺	宇野港インフォメーションセンター	うののり弁 （いちごと雑穀を使ったさくらご飯にゲタフライをのせたのり弁（春会期）） （栗と大豆のご飯に鮮魚の雑穀フライをのせたのり弁（秋会期））



レストラン イアラ 女木島



本からうまれる一皿～壺井栄と庚申の夜～



うららの玉手箱



讃岐の晩餐会

- このうち、夏・秋会期には、栗林公園商工奨励館において、美しい庭園の鑑賞とともに、劇団「指輪ホテル」の屋外公演や県産食材を使った食事を楽しめる「讃岐の晩餐会」を全 18 回開催し、ほとんどが満員の盛況で、心を込めたおもてなしで讃岐の魅力を満喫いただいた。
- 豊島の「島キッチン」では、島のお母さんたちと丸ノ内ホテルのシェフが協働し、地元の魚や野菜をふんだんに使った料理を提供した。
- また、各会期中、各島で地元の自治会等を中心として、地域の特色を活かした郷土料理の提供やお接待が行われた。
- これらの取組みを紹介したパンフレット『瀬戸内国際芸術祭 2016 食プロジェクト』を会期ごとに作成し、インフォメーションセンターや各案内所等で配布した。
- このほか、来場者に本県の豊富な食材を味わっていただくため、『さぬきダイニング&さぬきの食提供店ガイドブック』を作成し、会期中にインフォメーションセンターや各案内所等で配布した。

③ 地域文化の独自性発信

- 香川県は日本一の松盆栽の産地であり、江戸時代から培われた技術が今も受け継がれている歴史と伝統ある盆栽を、女木島でアート作品「feel feel BONSAI」として展開したほか、盆栽や苔玉のワークショップや、剪定などの盆栽技術を披露するライブパフォーマンスを開催するなど、香川の伝統文化である盆栽の魅力を広く発信した。
- 郷土の伝統文化・民俗芸能の一つである獅子舞は、本県に約 800 組あると言われており、それぞれの地域の風土と歴史の中で育まれた勇壮な獅子舞を春会期の開会式や秋会期には「獅子舞王国さぬき in 高松港」で披露したほか、高松港では獅子舞で定期船の見送りを行うなど、獅子たちの華やかな競演や力強い演舞が多くの来場者を魅了した。



「feel feel BONSAI」



開会式での獅子舞の演舞

(2) 作品・イベント

- 瀬戸内国際芸術祭 2016 には、34 の国と地域から 226 組の作家が参加した。
- 作品数は 206 点、イベント数は 37 であった。
(芸術祭 2013 : 26 の国と地域から 200 組、207 作品、40 イベント)

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
直島	001	大竹伸朗	直島銭湯「I♥湯」
	002	アート: 飯山由貴 / 建築: 西沢大良	宮浦ギャラリー六区 「生きている百物語」
	003	アート: 丹羽良徳 / 建築: 西沢大良	宮浦ギャラリー六区 「歴代町長に現町長を表敬訪問してもらおう」
	004	アート: 片山真理 / 建築: 西沢大良	宮浦ギャラリー六区 「bystander」
	005	藤本壮介	直島パヴィリオン
	006	—	直島建築 + The Naoshima Plan
	007	三分一博志	直島ホール
	008	安藤忠雄	ANDO MUSEUM
	009	宮島達男	家プロジェクト「角屋」Sea of Time '98ほか
	010	杉本博司	家プロジェクト「護王神社」アプロプリエイト プロポーション
	011	ジェームズ・タレル	家プロジェクト「南寺」バックサイド・オブ・ザ・ムーン
	012	須田悦弘	家プロジェクト「基会所」
	013	千住博	家プロジェクト「石橋」ザ・フォールズ/空(くう)の庭
	014	大竹伸朗	家プロジェクト「はいしゃ」舌上夢/ポッコン視
	015	内藤礼	家プロジェクト「きんざ」このことを
	016	—	ベネッセハウス パーク
	017	—	ベネッセハウス ミュージアム
	018	アート: 李禹煥 / 建築: 安藤忠雄	李禹煥美術館
	019	建築: 安藤忠雄	地中美術館
		アート: ウォルター・デ・マリア	
		アート: クロード・モネ	
		アート: ジェームズ・タレル	
	020	安藤忠雄	桜の迷宮
	021	戸高千世子	彼方の気配
	201	草間彌生	赤かぼちゃ
	202	妹島和世 + 西沢立衛 / SANAA	海の駅「なおしま」
	203	ジョゼ・デ・ギマランイス	Bunraku Puppet
	204	—	ベネッセハウス周辺作品
	E01	直島女文楽	春の祝舞
	E02	岡田利規 × 森山未来	in a silent way
E03	廣田あつ子 × 中村恩恵ユニット	come to the orchard in spring	
豊島	022	トビアス・レーベルガー	あなたが愛するものは、あなたを泣かせもする (日本フランチャイズバージョン)
	023	コンセプト、アート: 横尾忠則 / 建築: 永山祐子	豊島横尾館
	024	大竹伸朗	針工場
	025	森万里子	トムナフーリ
	026	青木野枝	空の粒子 / 唐櫃
	027	ピピロッチェ・リスト	あなたの最初の色(私の頭の中の解(ソリューション))— 私の胃の中の溶液(ソリューション))
	028	安部良	島キッチン

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
豊島	029	ジャネット・カーディフ& ジョージ・ビュレス・ミラー	ストーム・ハウス
	030	スマイルズ	檸檬ホテル
	031	アート:内藤礼/建築:西沢立衛	豊島美術館
	032	イオベット&ボンズ	勝者はいないーマルチ・バスケットボール
	033	アンリ・サラ	豊島シーウォールハウス
	034	クリスチャン・ボルタンスキー	心臓音のアーカイブ
	035		ささやきの森
	036	マイク+ダグ・スターン	Big Bambú
	037	ケグ・デ・スーザ	豊穡:海のフルーツ/豊穡:山の恵み
	038	塩田千春	遠い記憶
	039	アート:スプツニ子! /建築:成瀬友梨、猪熊純	豊島八百万ラボ
	E04		Well, come on stage!(春)
	E05	Nadegata Instant Party (中崎透+山城大督+野田智子)	Well, come on stage!(夏)
	E06		Well, come on stage!(秋)
	E07	—	島のお誕生会
	E08	音の絵本	オルフェウスの竖琴
	E09	鳥公園	ノヤジルシ
女木島	040	木村崇人	カモメの駐車場
	041	禿鷹墳上	20世紀の回想
	042	愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	MEGI HOUSE
	043	愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	愛知県立芸術大学国際交流展「NANAIRO+」
	044	平尾成志×瀬戸内工芸ズ。/香川県盆 裁生産振興協議会	feel feel BONSAI
	045	大竹伸朗	女根/めこん
	046	依田洋一朗	ISLAND THEATRE MEGI「女木島名画座」
	047	レアンドロ・エルリッヒ	不在の存在
	048	杉浦康益	段々の風
	049	カオス＊ラウンジ	鬼の家
	050	行武治美	均衡
	051	オニノコ プロダクション	オニノコ 瓦プロジェクト
	052	ナウイン・ラフンチャイクン+ナウイン・プ ロダクション	西浦の塔(OKタワー)
	E10	愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	北住淳ピアノコンサート「喜びの島-MEGI Vol.7」 内本久美ピアノコンサート「喜びの島-MEGI Vol.8」 「テラ」混沌とした時間を持つ空間に音を描く 白石禮子エレクトリックヴァイオリンコンサート 中尾純ピアノコンサート「喜びの島-MEGI Vol.9」 バンドパフォーマンス「海物語」
男木島	053	ジャウメ・ブレンサ	男木島の魂
	054	眞壁陸二	男木島 路地壁画プロジェクト wallalley
	055	イム・ミヌク	Lighthouse Keeper
	056	オンバ・ファクトリー	オンバ・ファクトリー
	057	川島猛とドリームフレンズ	カレードスコープ ブラック&ホワイト
	058	松本秋則	アキノリウム
	059	高橋治希	SEA VINE
	060	リン・ティエンミャオ(林天苗)	自転-公転
	061	谷口智子	オルガン

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
男木島	062	栗真由美	記憶のボトル
	063	漆の家プロジェクト	漆の家
	064	大岩オスカー	部屋の中の部屋
	065	山口啓介	歩く方舟
	066	レジーナ・シルベイラ	青空を夢見て
	067	昭和40年会 (会田誠、有馬純寿、大岩オスカー、 小沢剛、バルコキノシタ、松蔭浩之)	昭和40年会男木学校 PSS40
	068	TEAM 男気	男気プロジェクト
小豆島	069	チェ・ジョンファ(崔正化)	太陽の贈り物
	070	コシノジュンコ/アトリエオモヤ	アートノショーターミナル
	071	岸本真之	つぎつぎきんつぎ
	072	目	迷路のまち～変幻自在の路地空間～
	073	大岩オスカー	大岩島2
	074	長澤伸穂	うみのうつわ
	075	齋藤正人	猪鹿垣の島
	076	武蔵野美術大学わらアートチーム (代表:宮島慎吾)	わらアート
	077	ワン・ウェンチー(王文志)	オリーブの夢
	078	ポーズ・アンド・ラオ	Someone's Coming!
	079	康夏奈(吉田夏奈)	花寿波島の秘密
	080	尾身大輔	空想と虫籠
	081	久保寛子	段山遺跡群
	082	黒田大祐	チョウジガマズミについて
	083	友定睦	島の誕生
	084	土井満治	境界線の庭
	085	チャールズ・ウォーゼン	ひとりおどり
	086	シェームズ・ジャック	夕焼けハウス:存在の言葉としての家
	087	赤坂有芽	stories-House-
	088	入江早耶	ククリヒメノソノ
	089	伊東敏光+康夏奈(吉田夏奈) +広島市立大学芸術学部有志	潮耳荘
	090	伊東敏光	怪物と少年 II /この彫刻は一万年の生命を持ちヒトの一生の間には 10mほど歩く III
	091	graf+FURYU	Shodoshima Gelato Recipes Project byカタチラボ
	092	サルナス・バナルジー	Haragei
	093	村上慧	小豆亭(こまめてい)
	094	中山英之建築設計事務所	石の島の石
	095	サヘジ・ラハール	Revenants
	096	島田陽	おおきな曲面のある小屋
	097	黒崎香織	Follow the rules
	098	清水久和	オリーブのリーゼント
	099	graf	小豆島カタチラボ
100	ドットアーキテクト	Umaki camp	
101	京都造形芸術大学 城戸崎和佐ゼミ+graf	竹の茶室	
102	ソサ・ジョセフ	What are we ?	
103	笹岡由梨子	Atem	
104	—	壺井栄生誕地お花畑プロジェクト	
105	UMA/design farm + MUESUM × YCAM山口情報芸術センター	Creator in Residence 「ei」	

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
小豆島	105	UMA/design farm + MUESUM × ドットアーキテクト	Creator in Residence 「ei」
		UMA/design farm + MUESUM × 坂本大三郎	
		うつゆみこ (UMA/design farm + MUESUM)	
		八木良太 (UMA/design farm + MUESUM)	
	106	ヤノベケンジ	スター・アンガー
	107	ビートたけし×ヤノベケンジ	アンガー・フロム・ザ・ボトム 美井戸神社
	108	古谷誠章＋早稲田大学古谷誠章研究室	シシ垣でつくる堀越暮らしの輪プロジェクト
	109	清水久和	愛のポラード
	110	—	福武ハウス－アジア・アート・プラットフォーム 建築：西沢立衛 葺田バヴィリオン 福武ハウスパートナー共同展2016 福田「家プロジェクト」きよく 記憶の風景－Kyoku 福田アジア食堂
	111	リン・シュンロン(林舜龍)	国境を越えて・潮
	112	竹腰耕平	小豆島の木
	113	秩父前衛派	ダイナマイト・トラヴァース変奏曲
	E11	劇団道化座	大根の葉-しあわせの記憶-
	E12	ままごと	-港の劇場-「喫茶ままごと」,「小豆島きもだめスイッチ」
	E13	—	福武ハウス－アジア アート ミーティング
—	—	土庄郵便局舎アートプロジェクト	
大島	114	田島征三	森の小径
	115	—	青空水族館
	116	—	{つながりの家} 大島資料室・北海道書庫
	117	やさしい美術プロジェクト	{つながりの家} GALLEY15「海のこだま」
	118	—	{つながりの家} カフェ・シヨル
	119	山川冬樹	歩みきたりて
	E14	—	大島あおぞら市
	E15	—	大島に行こう！アートと自然を楽しむ子どもサマーキャンプ
犬島	120	アート：名和晃平／建築：妹島和世／ アーティストリックディレクター：長谷川祐子	犬島「家プロジェクト」F邸／Biota (Fauna／Flora)
	121	アート：荒神明香／建築：妹島和世／ アーティストリックディレクター：長谷川祐子	犬島「家プロジェクト」A邸／リフレクトゥ
	122	アート：小牟田悠介／建築：妹島和世／ アーティストリックディレクター：長谷川祐子	犬島「家プロジェクト」I邸／プレーンミラー、リパース（※春・夏）
		アート：オラファー・エリアソン／ 建築：妹島和世／ アーティストリックディレクター：長谷川祐子	犬島「家プロジェクト」I邸／Self-loop（※秋）
	123	荒神明香／建築：妹島和世／ アーティストリックディレクター：長谷川祐子	犬島「家プロジェクト」S邸／コンタクトレンズ
	124	下平千夏／建築：妹島和世／ アーティストリックディレクター：長谷川祐子	犬島「家プロジェクト」C邸／エーテル
	125	浅井裕介	犬島「家プロジェクト」石職人の家跡／太古の声を聴くように、昨日の 声を聴く
	126	妹島和世	中の谷東屋
	127	高橋啓祐	シーサイド犬島ギャラリー／The Fictional Island
	128	アート：柳幸典 建築：三分一博志	犬島精錬所美術館
	129	妹島和世＋明るい部屋	犬島くらしの植物園
	E16	MuDA	犬島パフォーミングアーツプログラム－MuDA 鉄
	E17	Nibroll	犬島パフォーミングアーツプログラム－世界は縮んでしまっている事実 だけが残る

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
犬島	E18	内橋和久	犬島パフォーマンスアーツプログラムー犬島サウンドプロジェクト Inuto Imago
	E19	ダミアン・ジャレ 名和晃平	犬島パフォーマンスアーツプログラムーVESSEL
	E21	小林武史	円都空間 in 大島 produced by Takeshi Kobayashi
沙弥島	130	ジティッシュ・カラット	Rippled Sky for Hitomaro
	131	藤本修三	八人九脚
	132	ターニャ・プレミンガー	階層・地層・層
	133	藤山哲朗＋ 富井一級建築設計事務所	沙弥島・西ノ浜の家
	134	五十嵐靖晃	そらあみく島巡り
	135	かわいひろゆき	ハレの日、金時への道
		戸矢崎満雄	空飛ぶ赤いボタン
		しりあがり寿	赤いネジ
		さくまはな	完熟の唄 海原に浮かぶ瀬戸の太陽
	136	中山玲佳	Las Islas—しま・しまー
	137	藤山哲朗	赤い窓の回廊
	E22	世田谷シルク	～野外劇場～ 星の王子さま
	E23	スナッフパベッツ	瀬戸内の巨大パベッツ
	E24	市民煎茶グループ 曙	～万葉茶会～ 冷泉家の和歌と文化
本島	138	石井章	Vertrek「出航」
	139	川口豊・内藤香織	シーボルトガーデン
	140	村尾かずこ	漆喰・鍍絵かんぱんプロジェクト
	141	眞壁陸二	咸臨の家
	142	五十嵐靖晃	そらあみく島巡り
	143	古郡弘	産屋から、殯屋から
	144	ツェ・スーメイ	Moony Tunes
	145	アレクサンドル・ポノマリョフ	水の下空
	146	齊藤正×続・塩飽大工衆	善根湯×版築プロジェクト
	E25	ベビー・ピー	惑星シワク 一宙と星をめぐる水軍の物語
高見島	147	野村正人	海のテラス
	148	田辺桂	漁師と職人
	149	中島伽耶子	時のふる家
	150	若林亮	錆色の旅
	151	山本基	たゆたう庭
	152	後藤靖香	覚悟のイロハ
	153	中島伽耶子	うつりかわりの家
	154	APP ARTS STUDIO	よなべのみやげ
	155	内田晴之＋小川文子＋田辺桂	除虫菊の家
	E26	MuDA	MuDA 海男
粟島	156	日比野克彦	瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト「一昨日丸」
	157	日比野克彦	瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト「ソコソコ想像所」「Re-ing-A」
	158	SOKO LABO	SOKO LABO OPEN
	159	久保田沙耶	漂流郵便局
	160	粟島芸術家村	日々の笑学校/粟島研究所
	161	エステル・ストッカー	思考の輪郭
	162	ムニール・ファトゥミ	過ぎ去った子供達の歌
	163	山田紗子	須田港待合所プロジェクト「みなとのロープハウス」
	E27	てとあし/tetoashi	ドリフトライン

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
伊吹島	164	石井大五	トイレの家
	165	豊福亮+Chiba Art School	沈まぬ船
	166	コンタクト・ゴンゾ	伊吹島ドリフト伝説
	167	みかんぐみ+明治大学学生	イリコ庵
	168	ウィルフレド・プリエト	限界 伊吹の静けさ打つ水の音
	169	小林耕平	ト・ラン・ス・フォー・マー - 島に成る -
	170	アルフレド&イザベル・アキリザン	Here, There, Everywhere: Project Another Country -Dap-Pay-
	E28	鬼太鼓座	音導(おとしるべ) ~迷路島からの波動標~
	E29	—	夜のまち歩き~よるしるべ2016~
高松港周辺	171	大巻伸嗣	Liminal Air-core-
	172	リン・シュンロン(林舜龍)	国境を越えて・海
	173	ジュリアン・オピー	「銀行家、看護師、探偵、弁護士」
	174	EAT&ART TARO	ALL AWAY CAFE
	175	本間純	待つ人/内海さん
	176	谷山恭子	I'm here. ここにいるよ。
	177	ヴェロニク・ジュマール	ウェルカム/ファニーブルー
	178	東京藝術大学×ロンドン芸術大学国際共同プロジェクト	複雑なトポグラフィ
	179	長谷川仁	猪おどし
	180	ジョン・クルメリング	hi 8 way
	181	—	Watch Tower
	E30	やなぎみわ	日輪の翼
	E31	讃岐獅子舞保存会	獅子舞王国さぬき in 高松港
	E32	—	瀬戸内アジア村 - タイファクトリー
		ベトナムアン・サーカス・フェデレーション	瀬戸内アジア村 - Asia Performing Arts Market in Setouchi 2016 / APAMS 2016
		ファー・ボンルー・セルパク	
		オン・ヨン・ロック	
		ナダダ・ダンス・シアター	
		キム・チャンスー	
		ベニ・カンドラ・リニ	
		うつしおみ	
		マラカンブ・インディア	
		オラン・オラン・ドラム・シアター	
ナン・ジョンバン・ダンスカンパニー			
インドラ・ズビールズ・ダンス			
ダロイ・ダンス・カンパニー			
チーム・ファニスト			
ティン・リン			
ウェイゼン			
チョウ・カイリン(張海輪)			
E33	指輪ホテル	讃岐の晩餐会	
宇野港周辺	182	淀川テクニック	宇野のチヌ
	183	—	終点の先へ
	184	小沢敦志	舟底の記憶
	185	山下拓也	士官BigMac>破滅喘鳴>『弱弱様Ⅱ』『遅延龍 ㊦』
	186	内田晴之	海の記憶
	187	エステル・ストッカー	JR宇野みなと線アートプロジェクト
	206	山本哲也	哲子の部屋

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名
宇野港周辺	E34	—	宇野港「連絡船の町」プロジェクト
	E35	nomad note dance	nomad note dance
全体・回遊	188	ジョゼ・デ・ギマランイス	フラワー
	189		ハッピーズネーク
	190	蓮沼昌宏	12島の物語 回遊式アニメーション
	205	猪熊弦一郎	香川県庁舎一階壁画「和敬清寂」
			丸亀猪熊弦一郎現代美術館
	E36	カンパニー ディディエ・テロン	AIR, LA GRANDE PHRASE
	E37	切腹ピストルズ	せつぶくびすとるず神出鬼没船
E38	Team BankART Tongshinsa	続・朝鮮通信使2016	

4 来場者の状況

(1) 来場者数

- 来場者数は、春会期が 254,284 人、夏会期が 401,004 人、秋会期が 384,762 人で、総来場者数は 1,040,050 人となった。

■会場別来場者数

会場名	芸術祭2016総来場者数（108日間）				芸術祭2013 総来場者数 （108日間）
	春会期	夏会期	秋会期	計	
直 島	61,097	108,895	87,594	257,586	265,403
豊 島	29,501	69,237	55,975	154,713	130,123
女木島	12,617	19,291	17,368	49,276	57,582
男木島	13,121	21,718	19,393	54,232	49,712
小豆島	35,120	66,170	54,256	155,546	196,357
大 島	1,070	2,056	1,978	5,104	4,544
犬 島	12,390	23,350	24,472	60,212	61,809
沙弥島	58,766	—	—	58,766	77,693
本 島	—	—	21,802	21,802	28,372
高見島	—	—	21,028	21,028	24,371
粟 島	—	—	23,668	23,668	32,412
伊吹島	—	—	16,756	16,756	37,706
高松港周辺	21,166	72,386	29,003	122,555	68,160
宇野港周辺	9,436	17,901	11,469	38,806	36,124
合 計	254,284	401,004	384,762	1,040,050	1,070,368

※伊吹島は、芸術祭 2013 の夏会期開催から今回は秋会期開催となった。また、芸術祭 2013 より、沙弥島は 4 日、本島、高見島、粟島は 1 日、伊吹島は 14 日開催日数が少ない。

【来場者数のカウントについて】

瀬戸内国際芸術祭は、開かれた島々を会場に開催され、島々を回遊することを目的としたイベントであり、作品が分散していることや屋外展示作品もあることから、芸術祭のために訪れた実人数の計測やすべての作品ごとに来場者数を把握することは、難しい状況にある。

このため、各会場において作品の配置状況や来場者の鑑賞ルート等を考慮して、有料施設を中心に入場者を正確に計測できる施設を「基準施設」として設け、会場毎に基準施設の来場者数を集計してその会場の来場者数とし、さらに各会場の来場者数を合計したものを芸術祭全体の来場者数としている。

■ 基準施設一覧

会場	番号	作家名	作品名・プロジェクト名・施設名	春会期	夏会期	秋会期
直 島	007	三分一博志	直島ホール	○	○	
	008	安藤忠雄	ANDO MUSEUM	○	○	○
	009	宮島達男	家プロジェクト「角屋」Sea of Time '98ほか			○
	017	—	ベネッセハウス ミュージアム	○	○	○
	019	建築：安藤忠雄 アート：ウォルター・デ・マリア アート：クロード・モネ アート：ジェームズ・タレル	地中美術館	○	○	○
豊 島	024	大竹伸朗	針工場	○	○	○
	031	アート：内藤礼／建築：西沢立衛	豊島美術館	○	○	○
	034	クリスチャン・ボルタンスキー	心臓音のアーカイブ	○	○	○
	035		ささやきの森		○	○
	039	アート：スプツニ子！ ／建築：成瀬友梨、猪熊純	豊島八百万ラボ	○	○	○
女木島	044	平尾成志×瀬ト内工芸ズ。/香川県盆栽生産振興協議会	feel feel BONSAI	○	○	○
	046	依田洋一朗	ISLAND THEATRE MEGI「女木島名画座」	○	○	○
男木島	058	松本秋則	アキノリウム	○	○	○
	064	大岩オスカー	部屋の中の部屋	○	○	○
小豆島	070	コシノジュンコ／アトリエオモヤ	アートノショーターミナル	○	○	○
	072	目	迷路のまち～変幻自在の路地空間～	○	○	○
	077	ワン・ウェンチー（王文志）	オリーブの夢	○	○	○
	079	康夏奈（吉田夏奈）	花寿波島の秘密	○	○	○
	092	サルナス・バナルジー	Haragei	○	○	○
	097	黒崎香織	Follow the rules	○	○	○
	110	—	福武ハウスーアジア・アート・プラットフォーム2016		○	○
	112	竹腰耕平	小豆島の木	○	○	○
大 島	—	高松大島航路乗船者数		○	○	○
犬 島	120	アート：名和晃平／建築：妹島和世／ アーティスティックディレクター：長谷川祐子	犬島「家プロジェクト」 F邸/Biota (Fauna/Flora)	○	○	○
	128	アート：柳幸典 建築：三分一博志	犬島精錬所美術館	○	○	○
沙弥島	132	ターニャ・プレミンガー	階層・地層・層	○		
	135	かわいひろゆき	ハレの日、金時への道	○		
		戸矢崎満雄	空飛ぶ赤いボタン			
		しりあがり寿	赤いネジ			
	さくまはな	完熟の唄 海原に浮かぶ瀬戸の太陽				
本 島	141	眞壁陸二	咸臨の家			○
	144	ツェ・スーメイ	Moony Tunes			○
高見島	153	中島伽耶子	うつりかわりの家			○
	155	内田晴之＋小川文子＋田辺桂	除虫菊の家			○
粟 島	156	日比野克彦	瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト			○
	160	粟島芸術家村	日々の笑学校/粟島研究所			○
伊吹島	165	豊福亮＋Chiba Art School	沈まぬ船			○
	169	小林耕平	ト・ラ・ン・ス・フォー・マー ー島に成るー			○
高松港	172	リン・シュンロン（林舜龍）	国境を越えて・海	○	○	○
	—	—	瀬戸内アジア村 ー タイファクトリー		○	
宇野港	183	小沢敦志	終点の先へ	○	○	○
	185	山下拓也	土官BigMac▷破滅喘鳴▷『弱弱様II』『遅延龍 ㊦』		○	○
	206	山本哲也	哲子の部屋	○	○	○
計				27	29	36

(2) 来場者アンケート調査の概要

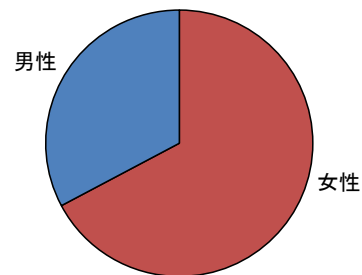
芸術祭会期中の来場者を対象に実施したアンケート調査に基づく来場者の傾向は、次のとおり。

＜来場者アンケート実施概要＞	
・ 直島・豊島・女木島・男木島・小豆島など芸術祭各会場において、高松港、宇野港及び最寄りの港に向かうフェリー等を待つ来場者を対象にアンケート用紙を配布し、下船港で回収した。	
・ 春会期中は3月26日～4月10日の16日間、夏会期中は7月28日～8月5日及び8月10日～16日の16日間、秋会期中は10月9日～23日の15日間実施し、合計で15,336枚の回答があった。	
【春会期】	
調査日	3月26日～4月10日(16日間)
調査期間中来場者数	104,524人
回収枚数	5,014枚
【夏会期】	
調査日	7月28日～8月5日及び8月10日～16日(16日間)
調査期間中来場者数	142,018人
回収枚数	5,279枚
【秋会期】	
調査日	10月9日～23日(15日間)
調査期間中来場者数	187,584人
回収枚数	5,043枚
【合計】	
調査日数	47日間
調査期間中来場者数	434,126人
回収枚数	15,336枚

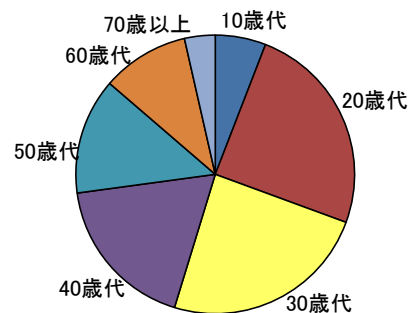
① 来場者の属性

- 男女別では、女性が約7割、男性が約3割となっている。
- 年代別では、20歳代が24.7%、30歳代が24.1%、次いで40歳代が18.1%であった。

性別	人数	割合	前回割合
女性	10,297人	67.2%	67.5%
男性	5,019人	32.8%	32.5%
総計	15,316人	100.0%	100.0%

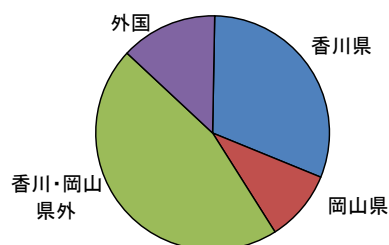


年齢層	人数	割合	前回割合
10歳代	900人	5.9%	8.6%
20歳代	3,777人	24.7%	27.6%
30歳代	3,689人	24.1%	23.9%
40歳代	2,769人	18.1%	14.6%
50歳代	2,059人	13.5%	12.0%
60歳代	1,549人	10.1%	9.7%
70歳以上	542人	3.5%	3.5%
総計	15,285人	100.0%	100.0%

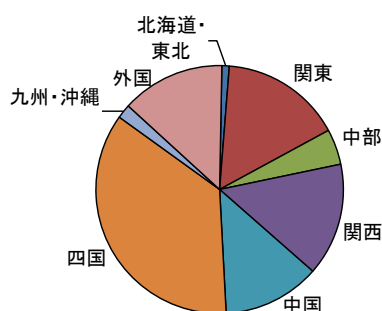


- 香川・岡山県からの来場者が 40.7%、両県外からが 45.9%、外国からが 13.4%であった。
- 地域別では、四国以外では、関東が 15.8%、関西が 14.7%となっている。
- 全ての都道府県からの来場があった。

居住地	人数	割合	前回割合
香川県	4,729人	30.9%	36.1%
岡山県	1,507人	9.8%	11.0%
香川・岡山県外	7,028人	45.9%	50.3%
外国	2,044人	13.4%	2.6%
回答数	15,308人	100.0%	100.0%



地域	人数	割合	前回割合
北海道・東北	147人	1.0%	0.9%
関東	2,396人	15.8%	17.8%
中部	703人	4.7%	4.9%
関西	2,231人	14.7%	16.5%
中国	1,924人	12.7%	14.3%
四国	5,416人	35.8%	41.1%
九州・沖縄	280人	1.8%	1.9%
外国	2,044人	13.4%	2.6%
回答数	15,141人	100.0%	100.0%



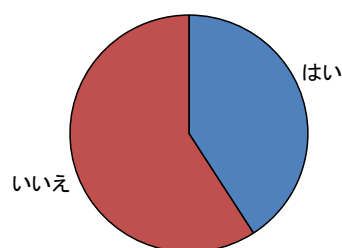
- 外国からは、台湾、香港、中国、フランスからの来場者が多い。

国名	人数	割合	前回割合
台湾	731人	37.2%	29.2%
香港	272人	13.8%	9.1%
中国	223人	11.4%	2.3%
フランス	122人	6.2%	9.8%
アメリカ合衆国	90人	4.6%	8.4%
オーストラリア	72人	3.7%	4.5%
イギリス	60人	3.1%	3.6%
韓国	60人	3.1%	12.5%
オランダ	35人	1.8%	1.8%
ドイツ	36人	1.8%	1.4%
その他	263人	13.4%	17.4%
合計	1,964人	100.0%	100.0%

- 過去の芸術祭にも来場した、いわゆるリピーター来場者は、全体の 40.9%であった。

過去の芸術祭への来場の有無

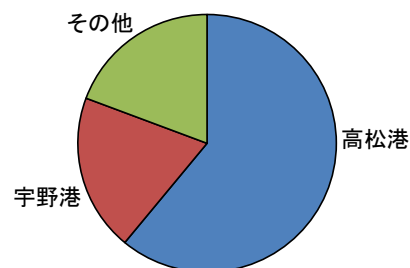
回答	人数	割合	前回割合
はい	5,668人	40.9%	32.2%
いいえ	8,195人	59.1%	67.8%
回答数	13,863人	100.0%	100.0%



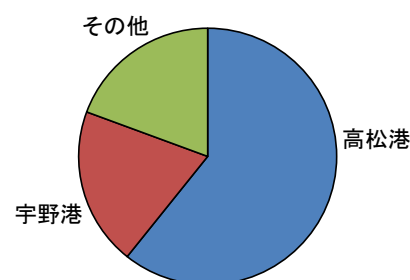
② 会場となる島へ（島から）の経由港

- 経由港は、往路・復路ともに高松港の利用者が約6割となっている。

往路ルート	人数	割合	前回割合
高松港	9,035人	61.0%	62.8%
宇野港	2,920人	19.7%	21.0%
その他	2,860人	19.3%	16.2%
回答数	14,815人	100.0%	100.0%



復路ルート	人数	割合	前回割合
高松港	8,929人	60.7%	64.1%
宇野港	2,929人	19.9%	21.4%
その他	2,848人	19.4%	14.5%
回答数	14,706人	100.0%	100.0%

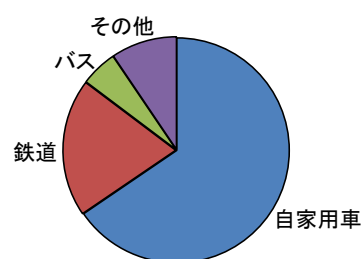


③ 最初の経由港までの主な交通手段（複数回答）

- 香川・岡山県からの来場者は、自家用車利用が65.5%と最も多く、次いで鉄道利用が19.8%となっている。
- 両県外からの来場者は、鉄道利用（新幹線含む）が42.3%であり、次いで飛行機が21%、自家用車19%、バス13.5%となっている。

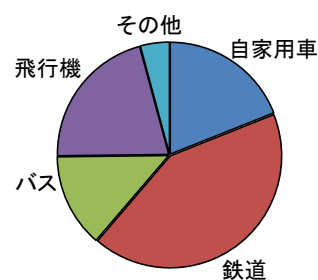
香川・岡山県内

交通手段	人数	割合	前回割合
自家用車	4,128人	65.5%	65.1%
鉄道	1,249人	19.8%	18.0%
バス	333人	5.3%	5.3%
その他	595人	9.4%	11.6%
回答数	6,305人	100.0%	100.0%



香川・岡山県以外

交通手段	人数	割合	前回割合
自家用車	2,082人	19.0%	25.5%
鉄道	4,641人	42.3%	37.1%
バス	1,481人	13.5%	16.5%
飛行機	2,300人	21.0%	16.5%
その他	463人	4.2%	4.4%
回答数	10,967人	100.0%	100.0%

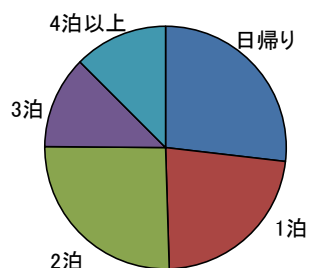


④ 来場者の滞在状況

- 香川・岡山県以外からの来場者の平均滞在日数は2.72日（芸術祭2013：2.48日）であり、宿泊者の平均宿泊数は2.36泊（芸術祭2013：2.00泊）であった。
- 香川・岡山県以外からの来場者の宿泊地は、高松が全体の40.4%を占め、次いで、小豆島、直島となっている。

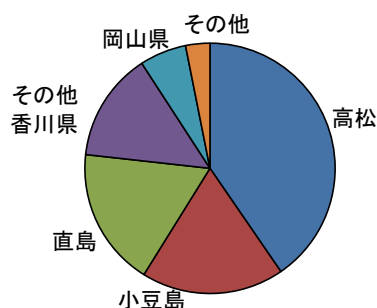
香川・岡山県以外からの来場者の滞在状況

日数	人数	割合	前回割合
日帰り	2,432人	26.8%	25.8%
1泊	2,058人	22.7%	28.3%
2泊	2,322人	25.6%	27.6%
3泊	1,117人	12.3%	11.4%
4泊以上	1,138人	12.6%	6.9%
回答数	9,067人	100.0%	100.0%



香川・岡山県以外からの来場者の主な宿泊地

宿泊先	人数	割合	前回割合
高松	3,626人	40.4%	41.4%
小豆島	1,655人	18.4%	18.8%
直島	1,605人	17.9%	18.6%
その他香川県	1,263人	14.1%	13.0%
岡山県	541人	6.0%	6.0%
その他	281人	3.1%	2.2%
回答数	8,971人	100.0%	100.0%

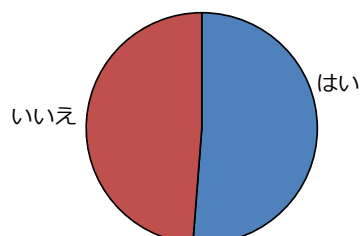


⑤ 観光地への訪問

- 半数を超える51.2%の来場者が芸術祭以外の観光地を訪問している。

芸術祭以外の観光地への訪問

回答	人数	割合	前回割合
はい	7,244人	51.2%	27.3%
いいえ	6,897人	48.8%	72.7%
回答数	14,141人	100.0%	100.0%

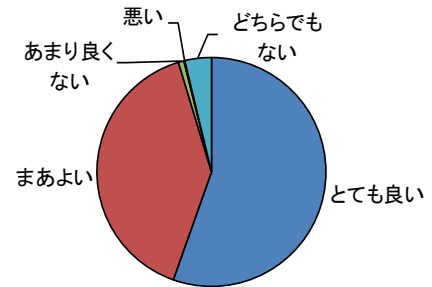


⑥ 芸術祭に対する評価

- 95.3%が「とても良い」「まあ良い」と評価している。

Q.芸術祭に来場されて、総合的にはいかがでしたか

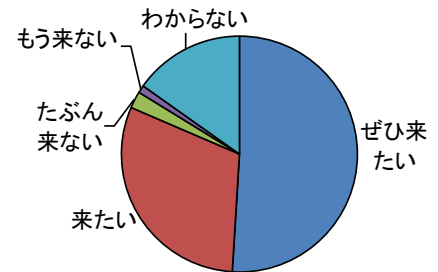
評価	人数	割合	前回割合
とても良い	7,536人	55.4%	52.8%
まあ良い	5,433人	39.9%	41.2%
あまり良くない	104人	0.8%	1.2%
悪い	19人	0.1%	0.2%
どちらでもない	510人	3.7%	4.6%
回答数	13,602人	100.0%	100.0%



- 次回芸術祭が開催された場合、81.5%が「ぜひ来たい」「来たい」と回答している。

Q.次回芸術祭が開催された場合、また訪れたいですか

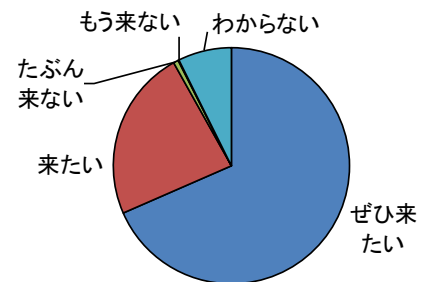
回答	人数	割合	前回割合
ぜひ来たい	6,845人	51.0%	50.4%
来たい	4,096人	30.5%	30.0%
たぶん来ない	311人	2.3%	2.5%
もう来ない	138人	1.0%	0.8%
わからない	2,040人	15.2%	16.3%
回答数	13,430人	100.0%	100.0%



- リピーター来場者の91.8%が次回も、「ぜひ来たい」「来たい」と回答している。

Q.(前回来られた方で)次回芸術祭が開催された場合、また訪れたいですか

回答	人数	割合	前回割合
ぜひ来たい	3,779人	68.4%	68.8%
来たい	1,293人	23.4%	23.3%
たぶん来ない	38人	0.7%	0.5%
もう来ない	6人	0.1%	0.1%
わからない	405人	7.3%	7.3%
回答数	5,521人	100.0%	100.0%



5 イベントの開催状況

- 公式アートイベントは、37 イベント、来場者数は合計 30,064 人となり、いずれのイベントも概ね満員で、多くの来場者でにぎわった。
(芸術祭 2013 : 40 イベント、来場者数 26,823 人)
- また、アーティストや地域住民の方々、ボランティアサポーターなどが一堂に会する開会式、瀬戸内アジア村開村式、クロージングセレモニーなどの記念式典では、趣向を凝らしたアトラクションを披露した。特に、開会式では、地域の獅子舞の共演で会場が盛り上がり、クロージングセレモニーでは、島の住民が登壇し感想を述べたほか、会期中の様子を島ごとに映像や寸劇などを交えながら芸術祭を振り返った。
- このほか、アーティストが独自に企画したワークショップを数多く開催したほか、市町においても、「直島建築ツアー」や「世界考古学会議 (WAC-8 kyoto) 小豆島プレシンポジウム」、「小豆島そうめんシンポジウム」が開催されるなど、地域の豊かな資源を活用して多彩なイベントを展開し、地域を盛り上げた。

会場	作品番号	作家名	作品・プロジェクト名	公演日	来場者数(人)	備考
直島	E01	直島女文楽	春の祝舞	3月20日	289	
	E02	岡田利規×森山未来	in a silent way	8月23日	102	
				8月24日	105	
				8月25日	103	
				8月26日	209	
				8月27日	240	
				8月28日	226	
E03	廣田あつ子×中村恩恵ユニット	Come to the orchard in Spring	4月2日	145		
豊島	E04 E05 E06	Nadegata Instant Party (中崎透+山城大督+野田智子)	Well,come on stage!	4月10日	120	
				9月3日	32	
				9月4日	24	
				11月5日	102	
				11月6日	73	
	E07	-	島のお誕生会	3月21日	150	
				7月24日	100	
				8月21日	100	
	E08	音の絵本	オルフェウスの竖琴	10月30日	500	※1
7月23日				40		
E09	鳥公園	ノヤジルシ	10月8日	45		
			10月9日	71		
			10月9日	71		
女木島	E10	愛知県立芸術大学 瀬戸内アートプロジェクトチーム	北住淳ピアノコンサート「喜びの島-MEGI Vol.7」	4月10日	48	
			内本久美ピアノコンサート「喜びの島-MEGI Vol.8」	7月23日	21	
			「テラ」混沌とした時間を持つ空に音を描く	8月11日	87	高松港
			白石禮子エレクトリックヴァイオリンコンサート	8月13日	46	
			8月14日	34		
			中尾純ピアノコンサート「喜びの島-MEGI Vol.9」	10月9日	27	
バンドパフォーマンス「海物語」	11月5日	60	高松港			
小豆島	E11	劇団道化座	大根の葉-しあわせの記憶-	4月15日	150	
				4月16日	110	
	E12	ままごと×スイッチ総研	港の劇場「小豆島きもだめスイッチ」	8月20日	95	
				8月21日	70	
				8月27日	95	
				8月28日	101	
E13	-	港の劇場「喫茶ままごと」	8/12~28月曜定休	156		
			7月24日	140		
大島	E14	-	福武ハウスーアジアアートミーティング	10月29日	38	
				E15	-	大島に行こう！アートと自然を楽しむ子どもサマーキャンプ

会場	作品番号	作家名	作品・プロジェクト名	公演日	来場者数(人)	備考			
犬島	E16	MuDA	犬島パフォーミングアーツプログラム-MuDA鉄	7月29日	88				
				7月30日	92				
				7月31日	131				
	E17	Nibroll	犬島パフォーミングアーツプログラム-世界は縮んでしまっている事実だけが残る	8月10日	92				
				8月11日	77				
				8月12日	123				
	E18	内藤和久	犬島パフォーミングアーツプログラム-犬島サウンドプロジェクト Inuto Imago	8月13日	103				
				8月22日	43				
				8月24日	26				
				8月25日	32				
				8月26日	28				
				8月27日	38				
				8月28日	37				
				8月29日	52				
8月31日				44					
9月1日				56					
E19	ダミアン・ジャレ 名和晃平	犬島パフォーミングアーツプログラム-VESSEL	9月2日	40					
			9月3日	76					
E21	小林武史	円都空間in犬島 produced by Takeshi Kobayashi	10月15日	184					
			10月8日	505					
			10月9日	500					
			10月10日	479					
			10月11日	482					
沙弥島	E22	世田谷シルク	～野外劇場～星の王子さま	4月16日	220				
				4月17日	180				
	E23	スナッフパベッツ	瀬戸内の巨大パベッツ	4月9日	400				
				4月16日	111	本島			
E24	市民煎茶グループ 曙	～万葉茶会～冷泉家の和歌と文化	4月10日	350	講演 茶会				
本島	E25	ベビー・ビー	惑星シワクー宙と星をめぐる水軍の物語	10月22日	120				
				10月23日	142				
高見島	E26	MuDA	MuDA 海男	10月9日	189				
粟島	E27	ととあし/tetoashi	ドリフトライン	10月10日	142				
				11月3日	95				
伊吹島	E28	鬼太鼓座	音導(おとしるべ)～迷路島からの波動標～	10月29日	227				
				10月21日	300				
	E29	-	夜のまち歩き～よるしるべ2016～	10月22日	300				
				10月23日	300				
				10月28日	300				
				10月29日	300				
				10月30日	300				
				11月3日	800				
				11月4日	200				
				11月5日	600				
11月6日	600								
高松港 周辺	E30	やなぎみわ	日輪の翼	8月27日	241				
				8月28日	166				
	E31	讃岐獅子舞保存会	獅子舞王国さぬきin高松港	11月3日	10,000				
				-	開村式	7月18日	200		
	E32	ベトナムアン・サーカス・フェデレーション ファー・ポルルー・セルパク オン・ヨン・ロック ナタンダ・ダンス・シアター キム・チャンスー ペニ・カンドラ・リニ うつしおみ マラカンブ・インディア オラン・オラン・ドラム・シアター ナン・ジョンバン・ダンスカンパニー インドラ・ズビールズ・ダンス ダロイ・ダンス・カンパニー チーム・フェニスト ティン・リン ウェイゼン チョウ・カイリン(張海輪)	Asia Perfrming Arts Market in Setouchi 2016/APAMS 2016	7月23日	126				
				7月24日	152				
				7月29日	117				
				7月30日	174				
				E33	指輪ホテル	讃岐の晩餐会	7月18日	59	
							7月23日	59	
							7月24日	46	
							7月30日	60	
							7月31日	54	
							8月20日	41	
	8月21日	55							
8月27日	50								
8月28日	59								
9月3日	60								
9月4日	48								
10月15日	61								

会場	作品番号	作家名	作品・プロジェクト名	公演日	来場者数 (人)	備考	
高松港 周辺	E33	指輪ホテル	讃岐の晩餐会	10月16日	58		
				10月22日	63		
				10月23日	63		
				10月29日	63		
				10月30日	62		
				11月5日	63		
宇野港 周辺	E34	宇野港「連絡船の町」プロジェクト	「撮り船」撮影会	4月17日	18		
				8月27日	20		
	E35	nomad note dance	nomad note dance	8月13日	40		
				8月14日	35		
				8月20日	40		
				8月21日	35		
				8月27日	115		
				8月28日	85		
広域・ 回遊	E36	カンパニー ディディエ・テロン	AIR, LA GRANDE PHRASE	10月13日	150	伊吹島	
				10月14日	180	高見島	
				10月15日	150	女木島	
				10月16日	200	高松港	
					230	宇野港	
					80	女木島	
					100	男木島	
					120	高松港	
					3月20日	200	沙弥島
					3月21日	80	豊島
					8月11日	80	宇野港
					8月12日	200	女木島
					8月13日	150	直島
					8月13日	160	小豆島
					8月14日	80	豊島
					9月3日	630	小豆島
					9月4日	50	犬島
					80	高松港	
					10月15日	200	本島
				10月16日	130	高見島	
				100	粟島		
				11月5日	500	直島	
				400	伊吹島		
				11月6日	130	高松港	
	E38	Team BankART Tongshinsa	続・朝鮮通信使2016	8/25~29	—	※2	
				小計	30,064		
記念 式典	-		開会式	3月20日	800		
	-		閉会式	11月6日	350		
				合計	31,214		

※1 棚田の収穫祭と合同のイベントのカウントとなった。
 ※2 イベントの性質上、来場者のカウントが困難である。

6 地域活性化に向けた取組み

今回の芸術祭では、多くの地域の方々に関わっていただき、芸術祭を一緒になって作り上げ、盛り上げていただいた。地域の活性化や再生につながるこうした取組みは、着実に根づいてきている。

●直島

- ・ 県無形民俗文化財である「直島女文楽」が、津軽三味線と共演したり、大型客船「にっぽん丸」による芸術祭鑑賞クルーズで公演を披露した。また、「直島つつじ太鼓」が、港で来場者の出迎え、見送りをしたり、マレーシアのドラムパフォーマーと共演するなど、島の持つ豊かな伝統芸能を積極的に活用して、島外の人との交流を図った。
- ・ 町を挙げて、会場付近の清掃活動を実施したり、来場者の多く通る場所で、花や絵画の展示、湯茶の接待、休憩所の設置を行うなど、来場者の受入に取り組んだ。
- ・ 外国人来場者の増加を受けて、小中学生およそ 20 人が、直島行きフェリーの船内や直島ホール、南寺周辺などで、英語による観光案内や島の魅力発信などに取り組んだ。

●豊島

- ・ 地域住民と（公財）福武財団との協働により、豊島の原風景である棚田の景観維持の活動を継続的に取り組んでいる。
- ・ 作品を制作する過程の中で、多くの地元住民が制作作業(ワークショップ)やアーティスト等が主催するイベントに積極的に参加した。
- ・ 秋会期には、甲生集落の地元住民が中心となり、地元でとれた食材を使った「ところてん」の無料接待を行った。
- ・ 島外から、比較的若い世代の移住者が増加傾向にあり、移住者が地元住民と協力して飲食店を運営する事例も生まれ、飲食店数は、今回の芸術祭開幕前の 18 軒から、開幕後は 24 軒に増加した。

●女木島

- ・ 新たに作品が設置された西浦集落において、制作にあたって、アーティストが住民一人ひとりにインタビューを行い、映像作品の録画を行った。はじめは恥ずかしがる人が多かったが、お互いの家族や人生について共有していくなかで徐々に打ち解け、これまで人がほとんど訪れなかった約 20 人の集落に多くの来場者や報道関係者が訪れたことから活気が生まれ、自発的に作品ガイドをする人も出てきた。
- ・ コミュニティ協議会が作品「段々の風」付近の公園や遊歩道の整備を行うなど来

場者の受入態勢を整えた。

- ・コミュニティ協議会を中心に例年行われている「鬼の市」が、今年は芸術祭会期中の11月3日（文化の日）にあり、婦人会により「鬼の力汁」がふるまわれた。

●男木島

- ・芸術祭を契機に再開した男木小中学校に続き、休所中だった男木保育所が平成28年5月から再開した。
- ・祭りなどの島の行事では、移住して来た若い世帯や子どもたちが中心となって活躍している。
- ・芸術祭の会期中、地元の食材を使った食の提供やお接待、作品の受付など、多くの島民が積極的に芸術祭の来場者と関わった。芸術祭閉幕の日には、島民がアーティストと共に紙テープや大漁旗を使ってフェリーの見送りを行った。

●小豆島

- ・大部や北浦、池田港、草壁港、田浦半島にて新たな作品展開が行われ、にぎわいがみられたし、島内では、地元住民や小中高校生等が中心となり、作品制作や作品設置後の運営管理に積極的に参加していた。
- ・また、各地域では、地元住民と島内に滞在した国内外のアーティストや来場者との自発的な交流活動が盛んに行われた。
- ・福武ハウスのある福田では、作品を展示しているアジアの団体や台湾桃園市新屋区と草の根的な交流を進めるなど、地域全体に刺激と活力を与えている。
- ・芸術祭の会期中、大部では、港や作品の近くにて、地元住民が、郷土料理である「ところてん」や「そうめん汁」、「石切り寿司(押し寿司)」等の提供を行い、来場者から好評であった。
- ・島内の作品展示会場を中心とする各地域においても、地元住民が中心となり、「そうめん」や「かきまぜおにぎり」等の地元食材がふるまわれ、来場者との交流を楽しんだ。お接待や食に関する作品を通して、芸術祭の一つのテーマである地元の「食」を発掘するとともに、地域の魅力に気づくきっかけにもなった。

●大島

- ・入所者の長年の念願であった大島青松園社会交流会館「よってんまい」の管理棟が完成した。入所者自治会と大島青松園、作家やこえび隊なども協力して整備されたもので、館内には、カフェや多目的ホールなどがあり、今後、入所者と来園者との交流の拠点となることが期待される。

●犬島

- ・春会期開幕日に、地元中学校吹奏楽部による演奏や地元婦人会による「よもぎもち」のふるまいが行われ、来場者を歓迎した。
- ・また、パフォーミングアーツおよび「円都空間 in 犬島」などのイベントが行われ

た夏・秋会期には、食事の提供を通して、島に滞在したアーティストと島民との交流が図られた。

- ・秋会期、島の中心部から離れた西の谷地区に「犬島 暮らしの植物園」がオープンしたのを契機に、島民が植物園のある西の谷地区へあらためて関心を持つようになり、芸術祭会期中に行われたワークショップへの積極的な参加もみられた。

●沙弥島

- ・沙弥島を含む5島（櫃石島・岩黒島・与島・瀬居島・沙弥島）で実施した「そらあみツアー」では、島民が先生、市内外からの参加者が生徒として作品制作を行ったほか、島民が島内を案内したり、採れたてのワカメを参加者にプレゼントするなど交流が図られた。
- ・会期前にクリーン作戦を実施し約400人のボランティアにより島内清掃を行ったほか、春会期開幕日には与島地区5島の伝統芸能を披露し来場者をもてなした。
- ・会期中は、5島から各島を代表する島メシを販売し、多くの来場者と交流するなかで、瀬戸内の食文化の発信に大きく貢献し、何気ない島の景色や食文化の魅力を再認識した。
- ・また、坂出市内の親子で結成された「坂出親子おてつ隊」による、お接待茶屋と島内ガイドが実施され、大変好評であった。このほか、地元のお母さんたちが作る「白みそ餡餅雑煮」の販売や、地元劇団による短編演劇の上演、坂出市特産のサヌカイトの楽器を使ったコンサートを行い、来場者を楽しませた。

●本島

- ・前回の芸術祭を経験した島の若者等を中心に実行委員会が組織され、島の活性化につなげようと来場者への「おもてなし」を企画・実施した。
- ・港では、太鼓や笛の演奏と旗振りにより、にぎやかな送り出しが行われ、フェリーが見えなくなるまで来場者を見送った。また、地元にはゆかりのあるアーティストらを招いて、イベント「海風フェス」を手作りで開催し、音楽や地元の食材で来場者をもてなした。来場者に島の熱い思いを伝えることができ、今後の継続的な活動への機運が醸成された。

●高見島

- ・島には、2つの集落があり、前回の芸術祭ではほとんどの作品・イベントが浦集落で展開されたが、今回の芸術祭では、浜集落にも設置され、2つの集落とも賑わった。
- ・島出身者が休憩所を設け、高見島の郷土料理「茶粥」の接待をはじめ、地元の海鮮を活かした飲食店も数多く出店した。また、地元漁協の青年部も地元の魚介類を使い曜日限定で出店し、芸術祭を盛り上げた。高見島応援団「さざえ隊」は、日頃から花壇作りや通路の整備など環境美化を積極的に行うとともに、会期中は作品紹介を含めた島ガイドも行った。

- ・芸術祭をきっかけに、島民、元島民、町民同士の絆が強くなり、相互理解が深まり、島民に笑顔が増え、島の誇りを改めて実感しているようだった。

●栗島

- ・瀬戸内国際芸術祭のサポートを含め、イベント等での島の活性化を目的に発足した「栗島ぼ〜い&が〜るの会」が、会期中は毎日、会場にて来場者に作品紹介を行い、作品の素晴らしさをより引き立てた。また、島内の公衆トイレを毎日清掃し、環境美化にも取り組んだ。
- ・芸術祭の開催を契機に市内 NPO 法人が来場者に島や地域の魅力を伝えようと、作品の展示場所を巡りながら作品の説明や島の魅力を発信する島内ガイドツアーを実施し、来場者と島との懸け橋役として活動を展開した。活動を通じて地域住民が地元の魅力を再認識したほか、島民や作家を含め地域の絆を紡ぐ役割を担ってきた活動が、今後も幅広い世代にわたり交流を継続していきたいという機運を高めた。
- ・また、港では紙テープと鐘によるお見送りを行うなど、来場者との密接な関わりを大切にし、芸術祭を盛り上げ、支えてくれた。

●伊吹島

- ・食プロジェクト「うららの台所」を展開していく中で、島内の各グループ間での協力関係が生まれるとともに、新しいネットワークが作られ、主体的にイベントに参加する姿勢が芽生えた。今後のイベントにおいても、島内で協力しておもてなしを行う基盤が醸成された。
- ・観音寺港や伊吹眞浦港では、「見送り隊」として、島民や各団体、スタッフ等が一体となって大漁旗や瀬戸芸フラッグを振り来島者を見送った。島民やスタッフの中には、出港する船を追って、岸壁が続く限り、大漁旗を持って走りながら、来島者をいつまでも見送るなど、各持ち場で工夫をしながら来島者に喜んでもらえるよう取組みを行った。

●宇野港

- ・市内にある3つの高校（玉野、玉野商業、玉野光南）の生徒たちが、宇野港で定期的にマルシェを開催している「UNOICHI」実行委員会と協働してオープニングイベントに参加したり、英語版の作品説明ボードをもって外国人に作品を紹介したり、お弁当の販売に協力したほか、玉中学校の生徒も作品受付や案内を手伝うなど、若者が主体的に頑張る姿が見られた。
- ・「たまの花回廊の会」が、作品の設置エリアでもある築港商店街で150個のプランターに花を植え、来場者を歓迎した。たまの観光ボランティアガイド「つつじの会」は、土日祝日には、JR宇野駅前では来場者をお迎えし、宇野港周辺を案内するとともに、和菓子・お茶のお接待を行った。
- ・また、芸術祭開催による知名度の向上に加えて、移住支援を行うNPO法人「う

のづくり」の地道な活動も重なり、移住者の増加や新たにゲストハウスや飲食店等を開業する動きが加速し、商店街の雰囲気が変わってきた。

- ・ 芸術祭をきっかけに、地元婦人会、愛育委員、老人会等のコミュニティ団体や住民が、作品受付や食プロジェクトなどに様々な形で関わり、こえび隊をはじめ、NPO法人、ボランティアグループとつながり、行政もそれに寄り添うというスタイルが生まれ、「協働のまちづくり」による地域活性化の動きが芽生えはじめた。
- 県内各地の獅子舞が一堂に会した「獅子舞王国さぬき in 高松港」が瀬戸内国際芸術祭 2016 の公式イベントとして開催され、過去最多の 63 の獅子組が集結し、地域色豊かな多彩な舞を披露するなど来場者を魅了した。獅子舞同士の交流を深め、発信していくことで、香川の獅子舞の伝統を継承していこうとする機運が高まった。
- このほか、芸術祭会場以外でも、「瀬戸内国際芸術祭 2016 パートナーシップ事業」に選定された 20 事業をはじめ、地域に根ざしたアートプロジェクトやイベント等が各地で開催、定着してきている。

7 芸術祭開催による効果

今回の芸術祭が、地域経済等に与えた効果について、産業連関分析や交通機関等関係者へのヒアリング調査などを行った結果、次のような成果があった。

(1) 経済波及効果

- 日本銀行高松支店と瀬戸内国際芸術祭実行委員会が共同で、平成 23 年度産業連関表（総務省）、平成 23 年度香川県産業連関表（香川県）を用いて推計した香川県内における経済波及効果は以下のとおりである。

①波及効果

経済波及効果	直接効果	1 次波及効果	2 次波及効果
139 億円 うち春会期 28 億円 夏会期 59 億円 秋会期 53 億円	86 億円 うち春会期 17 億円 夏会期 36 億円 秋会期 33 億円	29 億円 うち春会期 6 億円 夏会期 12 億円 秋会期 11 億円	24 億円 うち春会期 5 億円 夏会期 10 億円 秋会期 9 億円

直接効果： 芸術祭の来場者による県内消費金額等から、財・サービスの調達を県外に頼らざるを得ないなど、県外に消費が流れる部分を控除したもの

1 次波及効果： 直接効果によって県内各産業の生産額が増加した額

2 次波及効果： 直接効果及び 1 次波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることにより、県内各産業の生産額が増加した額

前提条件： 瀬戸内国際芸術祭実行委員会が期間中に実施したアンケート結果や各会場へ向かう航路の乗船人数等を踏まえ、試算上の人員を 29 万人として推計。

②消費金額等

	県外・宿泊	県外・日帰り	県内・宿泊	県内・日帰り
構成比	47.5%	21.4%	0.9%	30.2%
1 人あたり消費金額	53,127 円	19,150 円	31,072 円	14,646 円

※外国人来場者の消費金額は 61,733 円/人。全体に占める構成比は 13.3%、県外・宿泊に区分

- ・ 県内における経済波及効果は 139 億円であり、芸術祭 2013 と比較すると 7 億円の増加（対前回比 105.3%）となっている。
- ・ 来場者アンケート結果から、県外からの来場者の平均滞在日数が延びており、平均宿泊数も増えたことから、宿泊、飲食、交通を中心に消費金額が増加し、経済波及効果の押し上げに寄与している。なかでも、消費金額の多い外国人来場者の増加が大きく寄与している。
- ・ 芸術祭 2016 が「食」を重点プロジェクトに取り組んだことから、各島での食の提供が充実したことなどにより、飲食費も増えている。

- 日本銀行高松支店の「香川県金融経済概況（9月、12月）」でも、瀬戸内国際芸術祭の開催効果に言及があるなど、地域経済の活性化につながったことが確認できる。
- 観光庁（四国運輸局）によると、2016年1月から9月までの県内の外国人延べ宿泊者数が前年同期比152.5%となり、過去最多を更新した。また、10月は前年同月比234.1%と全国首位の伸びであった。高松商工会議所の「業種別業界景気動向調査（7月～9月期）」では、「前回2013年開催時よりも宿泊に好影響を及ぼしている」（ホテル）と言及している。
- 旅行予約サービス「楽天トラベル」によると、2016年の国内旅行先の人気上昇エリアランキングにおいて、香川県は夏が2位（対前年比148.6%）、秋が1位（同192.3%）となっている。また、インバウンド（訪日旅行）の人気上昇エリアランキングでも、香川県（高松・さぬき・東かがわエリア）が年間1位（同341.6%）となっており、いずれも瀬戸内国際芸術祭の開催効果とみている。
- 交通関係においては、四国運輸局の調べでは、芸術祭会期中の会場となる島々への関係航路利用者が対前年比132.4%となった。方面別では、いずれも対前年比で、直島方面が132%、豊島・犬島方面が249.9%、男木島・女木島・大島方面が241.1%、小豆島方面が101.3%となったほか、秋会期開催の本島・高見島・粟島方面は384.1%、伊吹島方面は514.6%であった。
- JR児島駅－高松駅間の芸術祭会期中の輸送実績は、対前年比106%となっている。また、JR四国が2016年4月から10月に販売した外国人旅行者向けの四国内共通フリーパス「ALL SHIKOKU Rail Pass」の実績は前年度1年分を上回った。このほか、高松琴平電気鉄道の高松築港駅における券売機での販売枚数は、対前年比115%となっている。
- 高松空港の2016年4月から10月までの利用実績は、対前年比103%であり、高松空港リムジンバスは、売上げが対前年比114%となっている。
- 県内の主要観光地の状況については、2016年4月から10月までの入込客数が269万7千人で対前年比102%となっている（対前年比 芸術祭2013 98%）。日本銀行高松支店の「香川県金融経済概況」でも、「瀬戸内国際芸術祭2016の開催効果等から、総じてみると増加している」（9月）、「瀬戸内国際芸術祭の開催による押し上げもあって、増加している」（12月）と言及している。

(2) 地域のイメージアップ

- 芸術祭は、文化芸術による地域の活性化を目的とした先進的な取組みとして、注目を集めており、国内外の行政や地域づくりに携わる関係者などの視察が多数あった。
 - ・国内では、大臣はじめ国関係が 8 件、都県及び市議会関係が 7 件、県及び市関係が 10 件、そのほかの団体等の視察を含めると計 33 件の視察があった。
 - ・国外では、大臣はじめ国・地域関係が 13 件、大使はじめ大使館関係が 6 件、県及び市関係が 9 件、そのほかの団体を含めると 34 件の視察があった。

- 10 月 21 日～23 日の 3 日間、寛仁親王妃信子殿下が瀬戸内国際芸術祭御視察のため来県され、高松港や小豆島、直島、大島、女木島の会場で芸術祭の作品をご鑑賞されたほか、国立療養所大島青松園を訪問し、入所者との交流を深められた。なお、皇室関係者が瀬戸内国際芸術祭を御視察に訪れたのは初めてである。

- ツーリズム業界の発展に貢献した国内外の団体等の持続可能で優れた取組みを表彰する「第 1 回ジャパン・ツーリズム・アワード」において、瀬戸内国際芸術祭実行委員会が大賞を受賞した。地域固有のコンテンツを通じた広域連携の可能性と地域活性化の挑戦が最も優れた取組みとして評価された。

- 四国新聞の読者が投票で選ぶ「2016 年県内 10 大ニュース」の 1 位に「瀬戸内国際芸術祭に 104 万人」が選ばれた（2016 年 12 月 24 日付け四国新聞記事）。

8 芸術祭に対する島民の評価等

(1) 島民の意見（意見交換会から）

- 芸術祭閉幕後、島の自治会役員や関係者等との意見交換会を開催した。
- いずれの島においても、芸術祭開催に好意的な意見が多数であったほか、運営の問題や開催時期、地域の活性化などについて意見があった。

<主な意見>

直島

- ・ とにかく、事故がなく無事に終わって良かった。
- ・ 秋会期は土日祝日に作品の開館時間を早めたことにより、混雑が大きく緩和したと思う。繁忙期だけではなく、芸術祭期間中は継続して対応した方が良いと思う。
- ・ 海上交通は大きな問題もなかったし、高松行きのフェリーを増便し、最終便の時間を遅らせた効果はあったと思うので、芸術祭が終わっても続けてほしい。
- ・ レンタサイクルは相変わらずマナーが悪いと聞くので、警備員を通行量の多い場所などに配置し、声掛けして注意喚起するなど、直接的な方法で地道に改善していくしかないと思う。
- ・ 案内所運営については、マニュアルどおりに行うのではなく、来場者に喜んでいただける案内ができるよう、芸術祭が始まる前から時間をかけてスタッフを研修する必要がある。また、島の事情をよく知っている地元の人にもっと案内所に関わってほしいので、町民が芸術祭に関心を寄せるような工夫が必要である。
- ・ ガイドブックについて、夏会期以降の作品がタイトル未定であったり、設置場所が変更になったり、店が増えたりなくなったりするので、通期にするのはどうかと思う。
- ・ 共通乗船券については、利用できない航路が多く、特に直島では外国人来場者が多いので、今回の共通乗船券のように対象が限定されるものは対応に苦慮する。
- ・ 次回に向けては、まず島内で何をすべきか、どういった方向性で芸術祭を迎えるのかを、関係者で共有していく必要があると思う。

豊島

- ・ 芸術祭は回を重ねるごとに盛大になっており、活性化に繋がっている。
- ・ 来場者は、事前にスケジュールを組んで行動していることが多く、予定に支障が生じないよう、船の積み残しが起こらないようにすることが必要である。
- ・ 住民から交通マナーへの意見が出ていた。自転車でケガをした人もいた。
- ・ 「食」に関しては、通年では冬期の収益が課題であり、新規出店する場合の投資が難しい状況である。
- ・ 来島者は増えているが、豊島にとっての経済効果を高めるには、より長く滞在させることが必要と思う。

- ・ 今後は、作品やイベントで檀山をもっと活用してほしい。
- ・ 豊島の南側（甲生から唐櫃の間）から見る景観は素晴らしいので、散策や写真撮影など来場者に楽しんでいただけるよう工夫してほしい。
- ・ 次回開催も是非お願いしたいし、地元がお手伝い出来ることがあれば協力していきたい。

女木島

- ・ 作家は島民に熱心に作品を説明してくれたし、ワークショップで指導してくれた。雨が降る中でも、材料を集めに島を回っていた。作家の熱意が伝わったので、多くの島民が協力したと思う。
- ・ 西浦集落は今回初めて作品ができるということで、住民全員が協力的な姿勢で臨んだ。
- ・ 地元の人が来場者に作品の説明をしたりして、だんだんと集落の人が自分たちの作品であるという意識を強く持つようになった。
- ・ バスのサービスを向上させることが、観光地としてのレベルを上げていくことにつながると思う。
- ・ 夏会期を短くして、秋会期を長くできないか。紅葉が終わるくらいまで、延ばせないか。
- ・ 「レストラン イアラ 女木島」で、島の人が調理や運営に関わったことは良かったと思う。
- ・ 外国人来場者が多かった。片言の英語で対応させていただいたが、勉強になった。マナーも良かった。
- ・ ゴミのポイ捨てはなかったが、道いっぱいに広がって歩く人が多く、通れなかった。
- ・ 国内はもとより、海外でも女木島の知名度が上がった。これは芸術祭の力だと思う。また3年後もよろしくお願いしたい。

男木島

- ・ 前回同様、会期分散を行ったことで、来場者が集中することがなく良かったと思う。会期と会期の間も、人が完全に途切れることはなかった。
- ・ 会期が終わっても、島の風景や猫を目当てに来島する人が続いている。引き続きアジア系の外国人も多い。
- ・ 他の島でどんな広がりがあるのか等を知りたい。勉強会などができるといい。
- ・ 準備期間が短かった。回を重ねるごとに、慣れのせいかな準備に時間をかけなくなっている。
- ・ 作家の滞在も短かった。島の人からすると、作家の顔を知らないまま、いつの間にか作品が出来ていて、芸術祭が始まったという感覚がなかった。
- ・ 案内所の外国語対応が不十分だった。
- ・ 男木島でオフィシャルな食プロジェクトの展開がなかったのは残念である。

- ・ 芸術祭 2010 の時と比べたら、会期中は食べる場所は格段に増えた。しかし、個人の出店のためか、島ならではの食が目立たなかった。個人の出店であったとしても、前向きな姿勢は出ていたと思う。
- ・ 特に、外国人はゴミのポイ捨てや道いっばいに広がって歩くなどマナーが悪かった。
- ・ 移住者が増え、学校や保育所が再開したことは、芸術祭の成果である。ぜひ次回に向けてやっていただきたい。

小豆島（土庄町）

- ・ 大部地区として初めて参加した芸術祭が無事に終わり、ほっとしているし、全般的な取り組みとしては良かった。
- ・ 交通については、レンタカーやマイカーを使った来場者が多く、作品周辺の生活圏の道路にたくさんの車が入ってきて、地元住民からクレームもあった。
- ・ バスの路線や便数など利便性向上を図ってほしい。
- ・ それぞれの会期終了ごとに、地元との意見交換会を行えば、さらに円滑な運営ができたのではないか。
- ・ 作品の数が増えたのは良かった。作品内容については、比較的インパクトが弱かったように思う。
- ・ 作品やイベントはよく分からなかったが、地元で展開されたことで地域にいい意味での変化が生じており、良かったと思う。
- ・ 「食」の提供場所は増えているが、比較的高い値段で提供しているところもあり、価格バランスが崩れてきている。郷土料理の提供については、非常に良いことであると思う。
- ・ 会期中たくさんの人が来場してくれたので、島内に明るさが出てきている。継続的に芸術祭を続けてほしい。

小豆島（小豆島町）

- ・ お接待や作品受付で、島外や外国からの来場者とたくさん関わることができた。その中で、自分の住む町を素晴らしい所と言ってくれたり、感謝してくれたりしたことは、非常に嬉しかったし、また改めて地域の良さを発見する機会となった。
- ・ 地域内でのお接待等を通して、地域の繋がりがより深くなった。
- ・ 小豆島は広く作品数も多いため、作品の配置を考えたり、バスの便をよくしたり、電動レンタサイクルを増やすなど、もう少し便利に回りやすくするようになればよい。
- ・ 狭い道を広がって歩いたり、多くの自転車が通ったり、路上駐車など交通面で課題を感じた。
- ・ 外国の方が増えているため、迷っている姿をよく見かけた。様々な案内表示を英語だけでなく、多言語化や絵記号で表すことが必要ではないか。また、作品説明等多言語化の必要があると思う。
- ・ 芸術祭をきっかけに交流人口を含め、多くの仲間ができたことは良かった。今後も、より幅広く地域住民の参加を呼びかけ、地域一体となって取り組んでいくことが大切

である。

- ・ 小さな集落で高齢化が進む中、芸術祭により外の刺激を受けることによって、地域の将来のために何かをしなければならないというきっかけになった。

大島

- ・ 天候にも恵まれ、会期が終わりに近づくほど盛り上がった。
- ・ 作品が増えたことも良かったし、内容も素晴らしかった。
- ・ 海上交通の心配をしていたが、それでも前回は上回る来場者があり、良かった。
- ・ 芸術祭が始まった当初から関わってきたが、初めはこれほど続くイベントになるとは思っていなかった。
- ・ 来場者のマナーは良かった。ハンセン病や大島のことを本当に学びに来ている。また、今回は特に国際色が豊かだった。
- ・ 会期中に完成した社会交流会館の展示や利活用方法については、今後関係者間で十分話し合っていきたい。

犬島

- ・ やはり3年ごとに作品が変化しないといけないと思う。前回の芸術祭と比較すると、新規の作品が少なかったような気がする。
- ・ 作家の滞在時間が短いと馴染みがうすくなる。
- ・ 犬島に特化した芸術祭用パンフレットがあると良かった。手紙に同封して送れるような、島をアピールできるものが欲しい。
- ・ チャーター船で犬島に来島する方も多く、現状の半分くらいの栈橋を造ってもらいたい。
- ・ 島民の生活に支障を来たさないよう、海上交通の島民の優先乗船については、対応してもらいたい。
- ・ マナーについては、これまでと比較すると良くなっている印象であるが、空き缶の放置などまだ問題はあある。
- ・ 「3年後まで元気でいよう」というのが島民どうしの合言葉。次回開催を楽しみにしている。

沙弥島

- ・ 市の職員をはじめ案内所スタッフなど、みんなよく働いてくれたおかげで、大きなトラブルもなく終えることができた。
- ・ 坂出市実行委員会のメンバーもゴミ拾いなど協力してくれたし、島に来た時に声をかけてくれるのが良かった。
- ・ 作家の人と人をつなぐ力はすごいと思う。地元では、その人なしでは瀬戸芸は始まらないというくらい根づいている。
- ・ お弁当のほか、ワカメうどんとおでんを販売していたので、前回と違い、食べるものがないという来場者からの声は聞こえてこなかったことは良かった。

- ・ 3年に一度開催することが、沙弥島の看板のようなものになりつつあるが、市の協力なしでは到底できるものではない。要望だけでなく、協力していくことが大切だと他の住民にも常に言っている。
- ・ オープニングセレモニーでの与島5島の伝統芸能は素晴らしかったし、周辺の施設も入館者が多かったと聞く
- ・ イベントも良かったが、次回は瀬戸大橋記念公園でも実施してほしい。

本島

- ・ 作品やイベントで活用された地域にある資源や歴史、文化、民俗等を今後も作家と共有していきたい。
- ・ フェリーについては、前回の経験を生かし、会期中定員を増員した結果、積み残しの解消が図れたし、大型シャトルバスを導入し、島内交通も円滑に運営できた。
- ・ シャトルバスが島内循環出来るように樹木伐採・路肩整備等をしたことや、作品周辺の雑草や害虫の駆除を行ったことにより、事故等がなくて良かった。
- ・ 作家の滞在期間が短かったのが残念。作家との交流が深まると制作の意図も理解でき協力もしやすいので、もっと早い時期に作家に入島してもらいたい。
- ・ 外国人来場者が増加し、コミュニケーションに困ったことが多々あったので、外国語対応スタッフの増員をお願いしたい。
- ・ 食プロジェクト「島娘」を会期中休むことなく営業できたことに満足している。
- ・ 「送り太鼓」に島民が参加することにより一体感が醸成されたし、本島独自イベント「海風フェス」の実施をきっかけに、島の若者が手伝い等に出て来てくれ、一緒に作業する機会が増えた。
- ・ 全体的に来場者のマナーは良く、笑顔で島内を歩いていた。
- ・ 若者やお年寄り、子どもたちも前回以上に関わってくれたので、次回も開催してほしい。
- ・ 秋会期は短く感じるので、期間を延ばしてほしい。

高見島

- ・ 高見島の特徴を表した作品が揃っていたので評判が良かった。
- ・ 夏は台風や蚊等の虫も多いことを考えれば、現在の秋会期の開催は妥当だと思う。
- ・ 飲食店は十分出ていたし、来場者の評判も良かった。茶粥の接待も盛況だった。
- ・ 日本人、外国人ともに来場者のマナーは良かった。ゴミのポイ捨ても少なかったように思う。
- ・ 作品以外でも、島民が島にまつわるものを展示すれば来場者に喜ばれるのではないかと。
- ・ 全国各地から高見島に来てもらえたし、「次回も来ます」と言ってもらえ、嬉しかった。
- ・ 集落ごとにバランス良く作品展開を行ってほしい。

栗島

- 作品の設置場所がコンパクトにまとまっていて、来場者からは巡りやすかったとの声を聞いた。
- 作家は本当に一生懸命やってくれて、感心した。島民と一緒に制作に携わり、島全体で盛り上げた芸術祭だった。
- 島の人は、作家が長く島に滞在してくれて、一緒になって作品を制作したという思い入れもあるから、作品受付にスタッフとして入ると熱く説明をする。それが来場者に喜ばれたと思う。
- 看板には作品番号と作品名が表記されているが、字が小さいので見にくい。もう少し分かりやすくなるようデザインを検討してほしい。
- 公式ガイドブックは、作品がイメージのままのものがあつた。集客につながらない。
- 「島の景色が良かった」「島の雰囲気が良かった」「島民と話ができて楽しかった」という声がたくさんあつた。
- 来場者のマナーは総じて良かったと思うが、道いっばいに広がって歩く人が多かった。
- 島民と一緒に制作することで、島民の意欲も湧いてくる。そういう意味では、栗島芸術家村事業は大切である。

伊吹島

- 坂が多い島なので気候が良い秋会期の開催だったので、来場者に負担がかからずすんだ。
- 島の人も飲食店を出したり、イリコの直売所を出したりと積極的に芸術祭に参加してくれていた。
- 会期のはじめは秋祭りと重なり、地元の人があまり来なかったように思う。
- よくわからない作品があつたし、ガイドブックとはイメージの違う作品があつた。
- イベントは全体的に島民の評判が良かった。
- ゴミは島に捨てず持って帰ってくれていたし、交通マナーも良かった。
- 秋会期は会期が短いので期間を延ばして、週に1回は休みを設けてほしい。
- 待合場所等で島の文化であるイリコのPR映像を流してはどうか。

宇野港（玉野市）

- 作品制作に携わり、高所作業や重労働で大変だったが、完成した時は気持ち良かった。制作を手伝っていくうちに、作家の意図がだんだんわかってきた。次回も手伝いたい。
- 日本人よりも外国からの来場者の方が積極的であつた。話している言葉は分からなかったが、それでもジェスチャーで和気あいあいとコミュニケーションを取ることができた。
- 地元の住民でもまだ芸術祭をよく知らない方が多いので、もっと参加して、より身近に感じて楽しんでもらいたい。
- 横の連携が薄いように感じたので、次回に向けては、関係者間の連絡体制を整備し

てほしい。

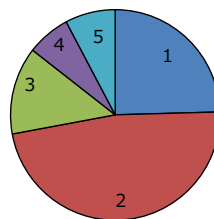
- ・ 「瀬戸内『食』のフラム塾」に参加し、いろいろな勉強ができた。また、会期中は、地元婦人会の方々の協力により、「食プロジェクト」を展開できた。
- ・ 宇野駅からフェリー乗り場に直行する来場者が多かったので、今後は滞在時間を増やすような仕組みを考えたい。
- ・ 作品の展示場所やフェリー・旅客船の乗り場がわかりづらいという人が多かった。
- ・ 豊島行きの朝の便は積み残しが何度もあり、対応に苦慮した。

(2) 島民の評価（島民アンケートから）

- 芸術祭終了後、会場となった島の住民（自治会単位）を対象にアンケートを実施し、1,395名から回答があった。
- 芸術祭開催による地域活性化については、72.1%の住民が役立ったと答えている。また、69.5%の住民が住んでいる地域に作品が設置されて良かったと答えている。

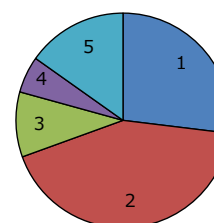
Q 芸術祭2016が終わった現在、芸術祭は地域活性化に役立ったとお考えですか。

回答	人数	割合
1. 大いに役立った	336	24.5%
2. 少しは役立った	651	47.6%
3. あまり役立たなかった	184	13.4%
4. 全く役立たなかった	92	6.7%
5. どちらともいえない	106	7.8%
合計	1,369	100.0%



Q あなたのお住まいの地域に、作品が設置されたことは良かったとお考えですか。

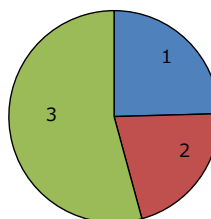
回答	人数	割合
1. たいへん良かった	360	26.9%
2. まあまあ良かった	569	42.6%
3. あまり良くなかった	131	9.8%
4. 悪かった	74	5.5%
5. どちらともいえない	203	15.2%
合計	1,337	100.0%



- 芸術祭への関わりについては、45.8%の住民が関わったと答えている。また、49.2%の住民が作家や来場者と交流する機会があったと答えている。

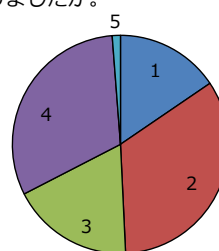
Q 作品制作や受付などの協力、あるいは来場者の出迎えや見送り、案内、食事の提供、お接待、ボランティアなど、芸術祭に関わりましたか。

回答	人数	割合
1. 関わった	334	24.6%
2. 少し関わった	288	21.2%
3. 関わっていない	738	54.2%
合計	1,360	100.0%



Q 作品の作家や来場者と、会話をするなど、交流する機会がありましたか。

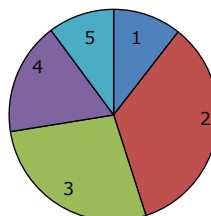
回答	人数	割合
1. 大いにあった	217	15.5%
2. 少しはあった	471	33.7%
3. あまりなかった	255	18.3%
4. 全くなかった	437	31.3%
5. どちらともいえない	17	1.2%
合計	1,397	100.0%



- 芸術祭開催による自らの地域に対する見方については、45.0%の住民が変わったと答えている。

Q 芸術祭2016において、自らの地域の再発見や愛着など、自らの地域に対する思いや見方がかわりましたか。

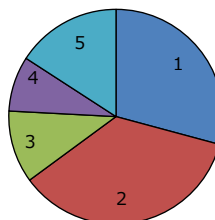
回答	人数	割合
1. 大いに変わった	141	10.6%
2. 少し変わった	458	34.4%
3. あまり変わらなかった	366	27.5%
4. 全く変わらなかった	230	17.3%
5. どちらともいえない	136	10.2%
合計	1,331	100.0%



- 次回芸術祭については、65.0%の住民が開催してほしいと答えている。

Q また、あなたのお住まいの地域で芸術祭を開催したいと思いますか。

回答	人数	割合
1. ぜひ開催してほしい	390	29.2%
2. どちらかといえば開催してほしい	478	35.8%
3. どちらかといえば開催しないでほしい	146	10.9%
4. 開催しないでほしい	111	8.3%
5. わからない	212	15.8%
合計	1,337	100.0%



9 ボランティアサポーターの活動

(1) こえび隊の活動

- 前回に引き続き、ボランティアサポーター「こえび隊」が芸術祭の様々な活動を支えた。
- 2015年秋頃からの作品制作、2016年3月からの作品受付、閉会後の作品撤去など、芸術祭2016のこえび活動に関わった人数は延べ約7,000人(実人員は約1,100人)となった。
- 各活動参加者延べ人数は、作品受付(食プロジェクトを含む)が約3,900人、作品制作が約1,900人、イベント等が約1,200人であった。
- 47都道府県のうち、43都道府県からの参加があった。社会人を中心に、小学生を含む家族での参加やシニア層の増加、高校生や大学生など幅広い年齢層の参加があった。
- 各活動への参加は、リピート率が高かった。
- 芸術祭2013と比較して、海外からの参加が増加した。台湾、上海、香港、シンガポール、アメリカ、フランスなど海外ボランティアが全体の約1割強だった。新たに、ウェブサイトでの英語での参加申し込みやメール対応を行ったこと、またアジアの大学からグループでの参加があったり、活動経験がある海外ボランティアの口コミなどにより参加が広がった。
- こえび隊の宿泊施設である「こえび寮」に宿泊したボランティアは約3,700名、うち海外ボランティアは宿泊者全体の1割強であった。
- 春、夏、秋会期とも、県外や海外からの長期滞在者が活動を支えた。特に海外からのボランティアが増加した夏会期以降は、朝礼や活動場所において英語や中国語による通訳を実施した。
- 地元ボランティアと海外ボランティアが協力して作品受付を行うなど、ボランティア間における国際交流の場となった。

①作品制作



②作品受付 (家族や小学生の参加もあった)



③作品受付（海外からの参加が増加した）



④地元学生の参加が増加した



- 瀬戸内国際芸術祭及びこえび隊を知ってもらうために、地元（高松、丸亀、岡山）をはじめ、東京、大阪、京都において説明会を実施した。

(2) 大学や企業等の活動

- 「企業ボランティアサポーター」制度に申込みのあった県内の9つの企業・団体から延べ約1,000人が主に土日祝日の作品受付業務等を行った。
- 地元大学から、夏会期を中心に延べ約350人の学生の参加があった。
- 県庁退職者会などのシニア層から延べ約550人の参加があった。
- 秋会期開催の中西讃4島でも、地元企業や学生、自治体退職者、ボランティア協会などから多数の参加があった。
- 豊島のレストラン「島キッチン」では、坂出第一高等学校の生徒たちが夏会期の連日、運営に加わり、地元のお母さんに交じって、仕込みや盛り付け、食器洗い、接客などに取り組んだ。
- 「讃岐の晩餐会」をはじめ、イベントプログラムに地元の生徒や学生、社会人が役者やスタッフとして加わった。

10 広報の状況

(1) 企画発表会等

- 高松、東京、大阪において企画発表会を行った。
- また、海外メディアの取材誘致を目的に、日本外国特派員協会（FCCJ）において、芸術祭の魅力を紹介した。

開催日	会場	名称/内容	来場者数(人)
2015年6月12日	高松シンボルタワー かがわ国際会議場	キックオフイベント/メインビジュアル・ ポスター発表、企画概要発表	350
2015年10月21日	日本橋三井ホール	企画発表会/企画概要発表、食プロジェクト 紹介	350
2015年10月28日	日本外国特派員協会 (FCCJ)	Kagawa Night/FCCJ所属の海外特派員に 対して芸術祭の魅力紹介、質疑応答	100
2016年1月13日	グランフロント大阪 ナレッジシアター	企画発表会/企画概要発表、安藤忠雄氏に よる芸術祭レクチャー	450
2016年1月18日	岡山国際交流センター 国際会議場	岡山説明会/実施概要説明、作品鑑賞パス ポート紹介	120

(2) PR キャンペーン等

開催日	会場	名称	内容
2015年5月20日	ホテルグランヴィア 岡山	岡山デスティネーションキャン ペーン 全国宣伝販売促進会議	PRブース設置、PR動画・ポスター展示、チラシ配布
2015年7月26日～9月13日	新潟県十日町市	大地の芸術祭 越後妻有アート トリエンナーレ2015	PRブース設置、パネル展示、チラシ配布
2015年9月24日～27日	東京ビッグサイト	ツーリズムEXPOジャパン	PRブース設置、PR動画・パネル展示、チラシ配布、 作品鑑賞パスポート（前売券）販売
2015年10月21日～23日	日本橋 江戸桜通り地下道	情報発信拠点	PRブース設置、PR動画・パネル展示、チラシ配布、 作品鑑賞パスポート（前売券）販売
2015年12月12日～13日	サンメッセ香川 大展示場	全国年明けうどん大会2015 in さぬき	PRブース設置、PR動画・パネル展示、チラシ配布、 作品鑑賞パスポート（前売券）販売
2016年2月9日	外務省飯倉公館	地方創生支援第6回飯倉公館活 用対外発信事業	PRブース設置、PR動画・パネル展示、チラシ配布、 北川ディレクターの特別セミナー
2016年2月17日～29日	渋谷ヒカリエ CUBE1/2/3、COURT	開幕直前展	PR動画・パネル展示、チラシ配布、公式グッズ・ 作品鑑賞パスポート（前売券）販売、ワークショッ プ、アーティストトークイベント
2016年3月30日～4月12日	伊勢丹新宿本店、三越 日本橋本店、三越銀座 店、高松三越	瀬戸内国際芸術祭2016×三越伊 勢丹 コラボエキシビジョン	芸術祭参加アーティストの作品展示、店舗内外の芸 術祭仕様の装飾、作品鑑賞パスポート販売
2016年6月8日	レクザムホール 小ホール	安藤忠雄講演会「芸術の力」	安藤忠雄氏による芸術祭の見どころ等紹介
2016年8月10日～22日	伊勢丹新宿本店	SETOUCHI ART@伊勢丹新宿店	芸術祭参加アーティストの作品展示
2016年10月11日～13日	にっぽん丸	にっぽん丸 「芸術祭鑑賞クルーズ」	パネル展示、船内外の芸術祭仕様の装飾、北川ディ レクターの特別講演、芸術祭参加アーティストのパ フォーマンス
2016年10月12日～17日	岡山天満屋	Design meets. 0	PRブース設置、ポスター・タペストリー展示、作品 鑑賞パスポート販売
2016年10月26日～11月1日	伊勢丹新宿本店	瀬戸内国際芸術祭×三越伊勢丹 コラボエキシビジョン@TOKYO 解放区	北川フラム氏・芸術祭参加アーティストのトークイ ベント、公式グッズ販売

(3) 海外 PR キャンペーン等

・講演等

開催日	会場	名称
2015年6月25日	タイ王国 バンコク タイ王国文化省	タイ文化省訪問
2015年7月15日	台湾 台北市 リージェント台北	旅行エージェンツ向け商談会
2015年11月1日	香港ビジュアルアーツセン ター「アートスペース0i」!	アートフォーラム「Dialogue 対談」
2015年11月18日	台湾 台北市 誠品書店信義店	瀬戸内国際芸術祭セミナー
2015年11月18日	台湾 台北市 台湾文化部	台湾文化部訪問
2015年12月6日	中国 上海 ルメリディリアン余山上海	米山学友会総会
2015年12月7日	中国 上海 上海春秋国際旅行社	旅行エージェンツ向け商談
2016年1月31日	香港 香港浸会大学	瀬戸内国際芸術祭セミナー
2016年2月1日	香港 香港アートセンター、アート パーゼル香港	香港アートセンター、アートパーゼル 香港訪問

・観光キャンペーンに併せての PR 等

開催日	会場	名称
2015年6月18日～21日	台湾 台北市 花博公園	新・日本旅遊節
2015年6月24日	タイ王国 バンコク バンコクターミナル21	香川県観光プロモーション IN バンコク
2015年6月26日	タイ王国 バンコク バンコクグランドドラマ9	香川県観光プロモーション IN バンコク
2015年7月16日～20日	台湾 台北市 台北世貿展覽一館	台湾美食展2015
2015年8月29日～9月1日	イタリア ミラノ ミラノ EXPO 日本館	ミラノ万博
2015年10月23日～25日	タイ王国 バンコク セントラルワールドプラザ	KAGAWA ART MIND
2016年5月17日	香港 カオルーン シャングリラ香 港ホテル	香川県観光セミナー

・取材対応等

開催日	会場	名称
2016年3月18日～19日	小豆島、男木島、豊島、直島	香川県観光協会ファミトリップ（台 湾）
2016年4月5日～6日	男木島、女木島、小豆島	香川県観光協会ファミトリップ（中 国）
2016年4月11日～14日	小豆島、豊島、女木島、男木 島	香川県観光協会ファミトリップ（台 湾）
2016年4月12日～14日	直島、豊島	香川県観光協会ファミトリップ（韓 国）
2016年5月30日	高松港	香川県観光協会ファミトリップ（韓 国）
2016年6月21日	男木島	高松市 海外PR協力（米国）
2016年6月22日～23日	男木島、女木島、豊島	香川県観光協会ファミトリップ（韓 国）
2016年7月10日	男木島	香川県観光協会ファミトリップ（香 港）
2016年7月29日～30日	男木島	香川県観光協会ファミトリップ（中 国、韓国、台湾、香港）
2016年8月4日～5日	小豆島、高松港	VJ地方連携事業（中国）

- ・上記のほか、福武総合プロデューサーが米国、ドイツ、韓国などで、講演を行っている。

(4) 広報制作物

- グラフィックデザイナーの原研哉氏にデザインを依頼し、各会期に応じてポスターやチラシ等の広報用印刷物やクリアファイル、缶バッジ等のグッズを展開した。主な印刷物の種別と制作部数は以下のとおり。

・ポスター	4種 (サイズ B1、B2、B3)	合計 31,100枚
・チラシ	4種 (春・夏・秋会期版は5ヶ国語対応)	合計 665,000枚
・ガイドマップ	1種	合計 120,000部 など

予告版 (左上)、春会期 (右上)、夏会期 (左下)、秋会期 (右下) のポスター



- ポスター、チラシは主に市町や全国の美術館、学校、公共機関等に発送し、掲出及び配布を依頼した。

(5) 公式ウェブサイト等

① 芸術祭公式ウェブサイト

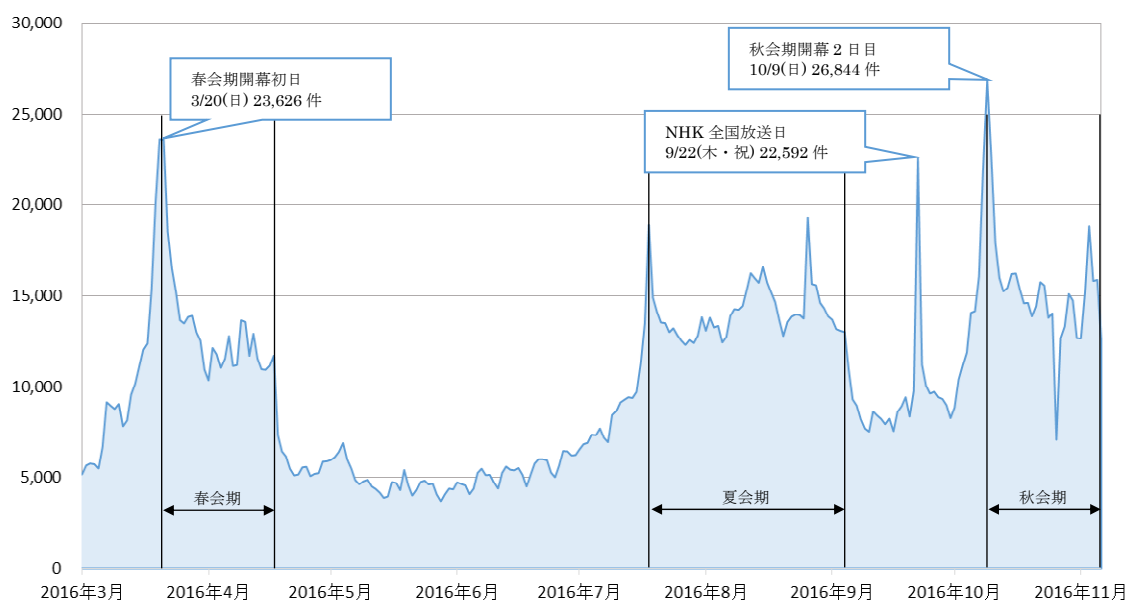
- 芸術祭全般を紹介する公式ウェブサイト(setouchi-artfest.jp)は2015年11月30日に開設以来初めて全面リニューアルを実施し、5か国語対応(日、英、中(簡体字)、台(繁体字)、韓)も行い、会期終了となる11月6日までで、181の国と地域から、約283万件のアクセス*があった。

(*Google Analyticsによる訪問数。1度のアクセスで複数ページを閲覧しても1件と数える。以下同様)

- このうち、87.9%は国内からで、海外からのアクセスは12.1%(約34万2千件)となった。
- 1日で最もアクセス数が多かったのは10月9日(日)の26,844件であった。
- 開幕前後でアクセス数が多かったほかは、期間中ほぼ毎日1万2千件~1万5千件前後のアクセスがあった。
- 春、夏はほぼ同様のアクセス数が見られ、秋に1割程度伸びる傾向にあった。(春会期平均13,414件、夏13,867件、秋15,571件)また、会期外でも全国放送直後にはアクセスが一時的に伸びる傾向があった。

国/地域	訪問数	比率
日本	2,487,649	87.9%
台湾	154,904	5.5%
香港	64,248	2.3%
中国	24,453	0.9%
米国	19,386	0.7%
韓国	13,278	0.5%
オーストラリア	8,998	0.3%
シンガポール	8,090	0.3%
フランス	5,723	0.2%
イギリス	5,580	0.2%
その他	37,538	1.3%
合計	2,829,847	100.0%

■開幕前後における公式ウェブサイトのアクセス状況



- Yahoo!JAPAN サイト内で、2016 年の検索数が前年と比較して最も上昇した人物や作品などを表彰する「Yahoo!検索大賞 2016」のローカルカテゴリー「香川県部門賞」及び「岡山県部門賞」に「瀬戸内国際芸術祭」が選ばれた。

② Twitter (ツイッター)

- 開幕前は作品制作状況や作品鑑賞パスポートの販促等を、会期中はイベント情報や各島の食に関することなどを随時配信したほか、全国放送のお知らせなどを随時配信した。
- 人気度を示すフォロワー数の推移を見ると、11月1日時点で日本語アカウントは 25,020 件、英語アカウントは 1,937 件となり、なお増加傾向にある。

③ Facebook (フェイスブック)

- 開幕前は作品制作状況や作品鑑賞パスポートの販促等を、会期中はイベント情報や各島の食に関することなどを随時配信したほか、全国放送のお知らせなどを随時配信した。
- 人気度を示す「いいね！」件数の推移を見ると、11月1日時点で日本語アカウントは 50,845 件、英語アカウントは 3,209 件となり、なお増加傾向にある。

④ Instagram (インスタグラム)

- 近年世界的に人気を集めている SNS である Instagram を活用したプロモーションを行うため、2016 年 1 月に開設した。
- 人気度を示すフォロワー数は 11 月 1 日時点で 7,862 件となっている。

(6) 公式ガイドブック

● 日本語版



- ・ 8 万部発行
- ・ Amazon の雑誌（現代美術、コンテンツポラリーアート部門）売上ランキングで、3月12日から2週連続1位を記録。現代美術部門では、3月12日から11月6日まで10位以内をキープ。

● 英語版



- ・ 今回初めて英語版を作成
- ・ 1 万部発行

(7) プレスツアー

春、夏、秋それぞれの会期の開幕前に、以下のとおり報道関係者向けのプレスツアーを実施した。

開催日	名称	会場	参加者数
2016年3月18日、19日	春会期プレスツアー	直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、沙弥島、高松港、宇野港	115
2016年7月16日、17日	夏会期プレスツアー	豊島、女木島、男木島、小豆島、犬島、高松港（讃岐の晩餐会）、宇野港	91
2016年10月6日、7日	秋会期プレスツアー	本島、高見島、粟島、伊吹島	51

(8) 取材対応

2016年1月以降、事務局が取材対応を行った件数は、国内外合わせて656件であった。

■取材対応件数

種別	国内	海外	計
新聞	116	9	125
テレビ	236	18	254
ラジオ	62	2	64
雑誌等	83	48	131
ウェブ	38	34	72
その他	6	4	10
計	541	115	656

(9) パブリシティの実績

- 新聞・テレビ・雑誌等の各種メディアで、1,740件の掲載・放送があった。
- このうち、地元ローカル（香川・岡山）以外は595件（34.1%）であった。

種別	海外	全国	地方	香川・岡山	計
新聞	11	92	16	908	1,027
テレビ	18	41	5	131	195
ラジオ	2	5	3	61	71
雑誌等	95	149	33	45	322
ウェブ	50	75	-	-	125
計	176	362	57	1,145	1,740

※ 記事／放送の主眼が芸術祭に置かれているもののみ抽出

※ 「地方」は、香川・岡山を除く地方ローカルを指す

※ 現在制作中の番組・雑誌等もあるため、実績はさらに増加する見込み

(10) 地元メディアでの長期特集

- 四国新聞
 - ・「フラムの瀬戸芸鑑賞ガイド」
春・夏・秋会期中 全30回
 - ・ウェブサイトで芸術祭特集ページを設置
- NHK 高松 (TV)
 - ・「ゆう6かがわ」の中で芸術祭情報コーナー「あ、いいかも瀬戸内」を設置
- 山陽放送 (TV)
 - ・「こえび隊の瀬戸芸時間」毎月1回放送
- 西日本放送・山陽放送 (ラジオ)
 - ・「島島ラジオ」毎週土曜日放送
- エフエム香川 (ラジオ)
 - ・「瀬戸内のしまラジ！」毎週火曜日放送

(11) 国内主要メディアでの掲載・放映実績

- 新聞
 - ・読売新聞全国版 3/20 (2段)、同全国版 8/11 (3段)、同全国版 9/29 (4段)
 - ・朝日新聞関西版 3/21 (2段)、同全国版 6/11 (5段)、同夕刊首都圏版 10/4 (3段)
 - ・毎日新聞全国版 3/10 (3段)、同全国版 8/13 (3段)、同全国版 10/17 (2段)
 - ・産経新聞全国版 3/28 (9段)、同全国版 8/4 (8段)、同全国版 10/27 (4段)
 - ・日本経済新聞全国版 3/21 (2段)、同全国版 8/8 (3段)、同全国版 10/8 (2段)
 - ・四国新聞 3/20 (8面)、7/18 (3面)、10/8 (6面)
 - ・山陽新聞 3/19 (4面)、7/16 (4面)、10/7 (4面)
 - ・北海道新聞 8/31 (9段) ほか多数
- 雑誌
 - ・「美術屋 百兵衛」1/15 発売 (3P)
 - ・「美術の窓」2/20 発売 (1P)
 - ・「ANA 翼の王国」3/1 掲載 (1P)
 - ・「Discover Japan」3/5 発売 (6P)
 - ・「旅の手帳」3/10 発売 (1P)
 - ・「FIGARO japan」3/20 販売 (1P)
 - ・「JAL SKYWARD」3/27 掲載 (2P)
 - ・「おとなスタイル」4/1 発売 (1P)
 - ・「Casa BRUTUS」4/9 発売 (1P)
 - ・「Numero TOKYO」4/27 発売 (1P)
 - ・「LOFFICIEL JAPAN」5/1 発売 (25P)
 - ・「CREA」5/1 発売 (2P)
 - ・「SODA」5/1 発売 (1P)
 - ・「ROLA」5/1 発売 (4P)

- ・「AERA」5/16 発売 (1P)
- ・「with」6/1 発売 (2P)
- ・「Kazi」6/1 発売 (8P)
- ・「SPUR」6/23 発売 (10P)
- ・「ART Collectors」6/25 発売 (2P)
- ・「OZ magazine TRIP」6/29 発売 (1P)
- ・「ことりっふ Magazine」7/1 発売 (3P)
- ・「Kazi」7/1 発売 (6P)
- ・「dancyu」7/6 発売 (7P)
- ・「Discover Japan」7/6 発売 (80P)
- ・「Marisol」7/7 発売 (2P)
- ・「Casa BRUTUS」7/9 発売 (8P)
- ・「SAVVY」7/23 発売 (40P)
- ・「FRAU」8/1 発売 (9P)
- ・「ART Collectors」8/25 発売 (5P)
- ・「BOAT CLUB」9/1 発売 (4P)
- ・「OZ magazine」9/12 (18P)
- ・「Oggi」9/28 発売 (2P)
- ・「STORY」10/1 発売 (6P)
- ・「女子旅行」10/1 発売 (4P)
- ・「VOGUE」11/1 発売 (2P)
- ・「SPUR」11/23 発売 (6P) ほか多数

● テレビ

- ・RNC「瀬戸芸ノススメ」3/21 放映 (120 分)、7/30 放映 (55 分)
- ・テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」3/22 放映 (25 分)【全国】
- ・NHK 高松「瀬戸芸キャラバン」3/22-25 放映 (計 90 分)
- ・NHK 総合「一生に一度は体感したい里海の絶景」
3 月-4 月、8 月-9 月放映 (各 5 分 計 30 本以上)【全国】
- ・NHK 総合「シブ 5 時 (直島中継)」4/1 放映 (5 分)【全国】
- ・フジテレビ「めざましテレビ」4/6、4/12 放映 (各 5 分)【全国】
- ・BS 朝日「人生を変える 7 日旅 瀬戸芸特集」5/6、5/12 放映 (各 60 分)【全国】
- ・テレビ大阪「おとな旅あるき旅」6/4、6/11 放映 (各 30 分)【関西】
- ・日本テレビ「秘密のケンミン SHOW」6/16 放映 (5 分)【全国】
- ・NHK 総合「あさいち」7/21 放映 (10 分)、9/21 放映 (10 分)、10/5 放映 (10 分)【全国】
- ・NHK 総合「くらし☆解説～国際芸術祭が地域を救う！～」7/22 放映 (10 分)【全国】
- ・テレビ東京「クロスロード」8/7 放映 (5 分)【全国】
- ・KSB「報・動・力 瀬戸芸特集」8/20 放映 (60 分)
- ・BS 朝日「新・にほん風景遺産」9/13 放映 (60 分)【全国】
- ・毎日放送「おとな会～オトナ度ちよい増し TV」9/21 放映 (60 分)【関西】

- ・NHK 総合「吉高由里子 in 瀬戸内 アート×絶景×島めぐり」
9/22 (73分)、10/8 再放映【全国】
- ・NHK 高松「Discover 四国」10/7 放映 (73分)【四国】
- ・NHK 高松「Discover 四国」10/25 放映 (50分)【全国】
- ・NHK 高松「新日本風土記」10/28 放映 (15分)【全国】
- ・NHK 総合「キッチンが走る！」11/3 放映 (45分)【全国】
- ・BS-TBS「極上のクルーズ紀行」11/27 放映 (114分)【全国】
- ・NHK 教育 日曜美術館 40周年特集「ゆく美くる美」2017/1/1 放映 (5分)【全国】
ほか多数

● ラジオ

- ・エフエム香川「瀬戸内しまラジ！」3月-11月放送 (各5分)
- ・RNC、RSK「島島ラジオ」3月-11月放送 (各20分)
- ・J-WAVE「JK RADIO TOKYO UNITED」3/19 放送 (10分)
- ・J-WAVE「WONDER VISION」7/3 放送 (10分)
- ・全国 AM ネット「Wake Up メロディー」7/15 放送 (5分)
- ・ジャパンエフエムネットワーク「Day by Day」7/26 放送 (5分) ほか多数

● ウェブサイト

- ・昭文社「ことりつぶ」2/16 掲載
- ・CINRA「CINRA.NET」3/6 掲載
- ・東京美術「東京美術」3/10 掲載
- ・ハースト婦人画報社「Harpers BAZAAR」3/10 掲載
- ・三越伊勢丹「ISETAN GUIDE for STYLING」3/13 掲載
- ・アートイット「ART iT」3/20 掲載
- ・マガジンハウス「Casa BRUTUS」4/13 掲載
- ・ネオジャパン「デスクネッツ」6/1 掲載
- ・INCLUSIVE「Byron」7/1 掲載
- ・幻冬舎「Spark GINGER」7/14 掲載
- ・スターツ出版「OZmall」7/18 掲載
- ・美術出版社「bitecho」7/20 掲載
- ・JDN「JDN」8/10 掲載
- ・ANA「ANA Latte」9/10 掲載
- ・集英社「LEE」9/23 掲載
- ・昭文社「DiG JAPAN!」9/30 掲載
- ・キュレーションジャパン「PREMIUM JAPAN」10/16 掲載
- ・コンデナスト・ジャパン「VOGUE GIRL」10/25 掲載 ほか多数

(12) 海外メディアでの掲載・放映実績

● 新聞

- ・Asian Art Newspaper 3/11【イギリス】

- ・ 光州毎日新聞 8/9 (15 段) 【韓国】
- ・ 人民日報 海外版 2017 年 1 月号 (6P) 【中国】
- 雑誌
 - ・ 「NUO Travel」 2 月掲載 (4P) 【中国】
 - ・ 「Dynasty」 3 月掲載 (1P) 【台湾】
 - ・ 「ArtReview Asia」 3 月掲載 (1P) 【英語圏】
 - ・ 「TRIPS」 3 月発売 (5P) 【タイ】
 - ・ 「家庭画報 Japan EDITION」 4 月発売 (1P) 【英語圏】
 - ・ 「Art Collectors in Asia」 5 月掲載 (1P) 【香港】
 - ・ 「See All This」 5 月掲載 (1P) 【オランダ】
 - ・ 「ASIANA」 5 月掲載 (11P) 【韓国】
 - ・ 「iTravel Magazine」 6 月掲載 (7P) 【台湾】
 - ・ 「LOHAS Magazine」 6 月掲載 (6P) 【中国】
 - ・ 「Kyoto Journal」 7 月掲載 (15P) 【英語圏】
 - ・ 「Japan Walker」 7 月発売 (1P) 【台湾】
 - ・ 「SILKROAD」 7 月掲載 (8P) 【香港】
 - ・ 「芭莎 BAZAAR 藝術 ART」 7 月発売 【中国】
 - ・ 「INTERIOR DESIGN」 7 月発売 (2P) 【アメリカ】
 - ・ 「Noblesse」 8 月発売 (4P) 【韓国】
 - ・ 「Uexplore」 8 月掲載 (5P) 【香港】
 - ・ 「Japan Walker」 8 月発売 (16P) 【台湾】
 - ・ 「my HOME」 8 月発売 (6P) 【台湾】
 - ・ 「旅游天地」 8 月発売 (12P) 【上海】
 - ・ 「OCEAN TIME」 8 月掲載 (8P) 【台湾】
 - ・ 「BAZAAR ART」 8 月発売 (28P) 【香港】
 - ・ 「Air France Madame」 9 月掲載 (4P) 【フランス】
 - ・ 「artnow」 9 月発売 (1P) 【韓国】
 - ・ 「家庭画報 Japan EDITION」 10 月発売 (1P) 【英語圏】
 - ・ 「Taide(“Art”)Magazine」10 月発売 (4P) 【フィンランド】
 - ・ 「MILK (art & culture)」 10 月発売 (4P) 【香港】
- テレビ
 - ・ 一条 TV 「全世界最治愈的島」 4/1 放映 (6 分) 【中国】
 - ・ NHK 国際放送局 「Newsroom Tokyo」 4/8 放映 (8 分) 【英語圏】
 - ・ BSTV 「BSTV NEWS」 5/23、5/24、5/25、5/26、5/27 放映 (各 4 分) 【台湾】
 - ・ NHK 国際放送局 「J-Trip Plan」 7/19 放映 (8 分) 【英語圏】
 - ・ TNN24 「Thai Factory Market 2016」 (6 分) 【タイ】
 - ・ NHK 国際放送局 「Face to Face」 8/28 放映 (30 分) 【英語圏】
 - ・ 外務省海外向け PR 番組 「JAPAN Video Topics」 2017 年春以降放映 (5 分) 【海外 60 カ国、100 局(TV)】

- ラジオ
 - ・「ABC」 3/11 【オーストラリア】
- ウェブサイト
 - ・「BK Magazine」 1/22 【タイ】
 - ・「BLOUIN ARTINFO」 2/12、6/30 【英語圏】
 - ・「American Express Essentials」 3/1 【英語圏】
 - ・「Mer et Demeures」 3/16 【フランス】
 - ・「HotelsCombiend on Yahoo!Taiwan」 3/22 【台湾】
 - ・「ASEF Culture360」 3/8、5/6、10/18 【英語圏】
 - ・「Setouchi Finder」 3/30 【英語圏】
 - ・「Stand News」 4/27、5/10、9/25 【香港】
 - ・「ArtLight」 7/22 【ドイツ】
 - ・「COBO SOCIAL」 8/31 【香港】
 - ・「Dodooba」 9/28 【韓国】
 - ・「Mutual Art」 10/11 【英語圏】

(13) 広告の状況

新聞	掲載日	サイズ	内容
四国新聞	3月6日	記事下5段カラー	作品鑑賞パスポート（前売）・フェリー乗り放題3日間乗船券（前売）のPR
	3月15日～20日	1面題字下カラー	春会期開幕までのカウントダウン
	3月20日	ラッピング60段カラー	作品鑑賞パスポート、春会期ポスター、開催期間中の航路・時刻表のPR
	6月11日	記事下全6段カラー（オアシス）	作品鑑賞パスポートのPR
	6月18日	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポートのPR
	7月13日～18日	1面題字下カラー	夏会期開幕までのカウントダウン
	8月12日	記事下全5段カラー（オアシス）	作品鑑賞パスポート・こえび隊募集のPR
	9月1日	記事下半7段カラー	作品鑑賞パスポート・こえび隊募集のPR
	9月8日	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート・こえび隊募集のPR
	10月3日～8日	1面題字下カラー	秋会期開幕までのカウントダウン
	12月23日	全30段カラー	瀬戸内国際芸術祭2016ダイジェスト版
	山陽新聞	3月9日	全15段カラー
3月10日		全15段カラー（レディア）	作品鑑賞パスポート（前売）のPR
3月19日		記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート（前売）のPR
7月16日		記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポートのPR
7月24日		全11段カラー（レディア）	作品鑑賞パスポート、宇野港作品、犬島パフォーミングアーツプログラムのPR
10月7日		記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポートのPR

(14) 来場者の情報源

- アンケート調査の結果で見ると、インターネットが最も多く25.1%となっている。
- 次に、口コミ、掲示物、新聞となっている。

情報源（複数回答）	人数	割合
インターネット(フェイスブック、ツイッター含む)	5,297人	25.1%
口コミ	2,889人	13.7%
掲示物	2,617人	12.4%
新聞	2,325人	11.0%
ポスター	2,268人	10.8%
TV	1,985人	9.4%
雑誌	1,935人	9.2%
その他	1,755人	8.3%
総計	21,071人	100.0%

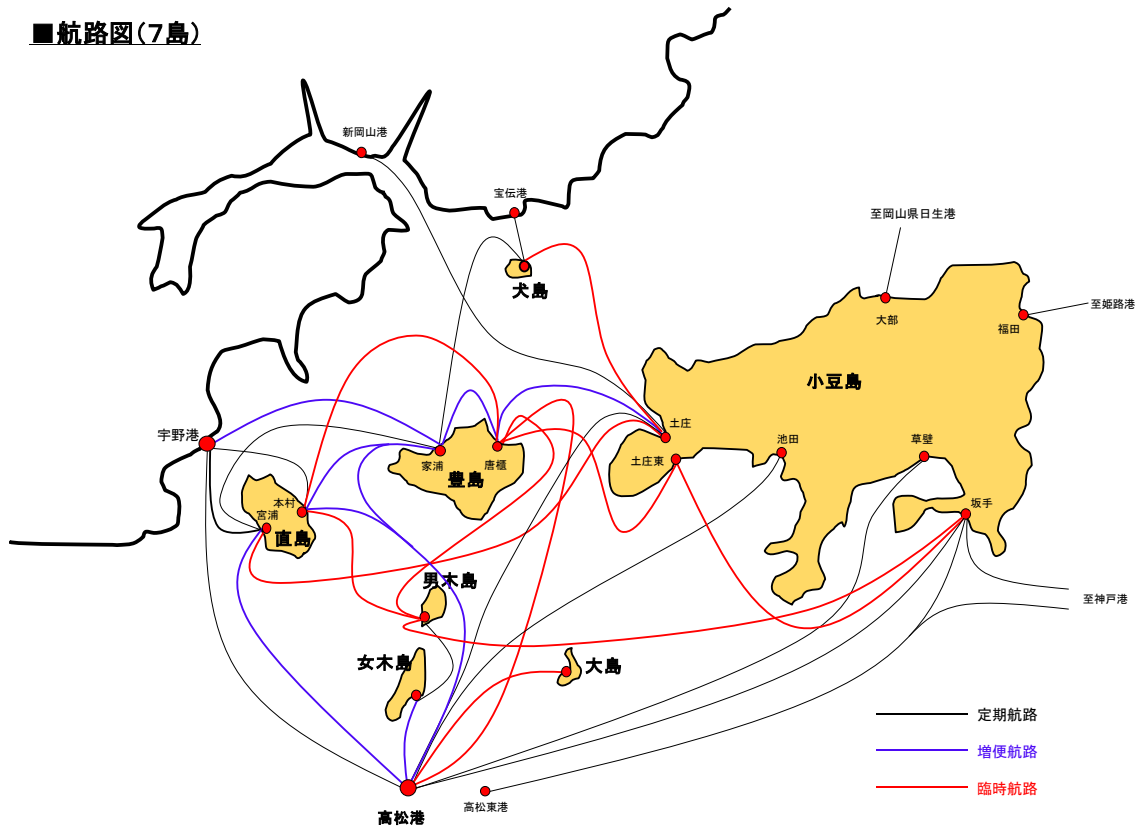
11 交通の状況

(1) 海上交通の整備

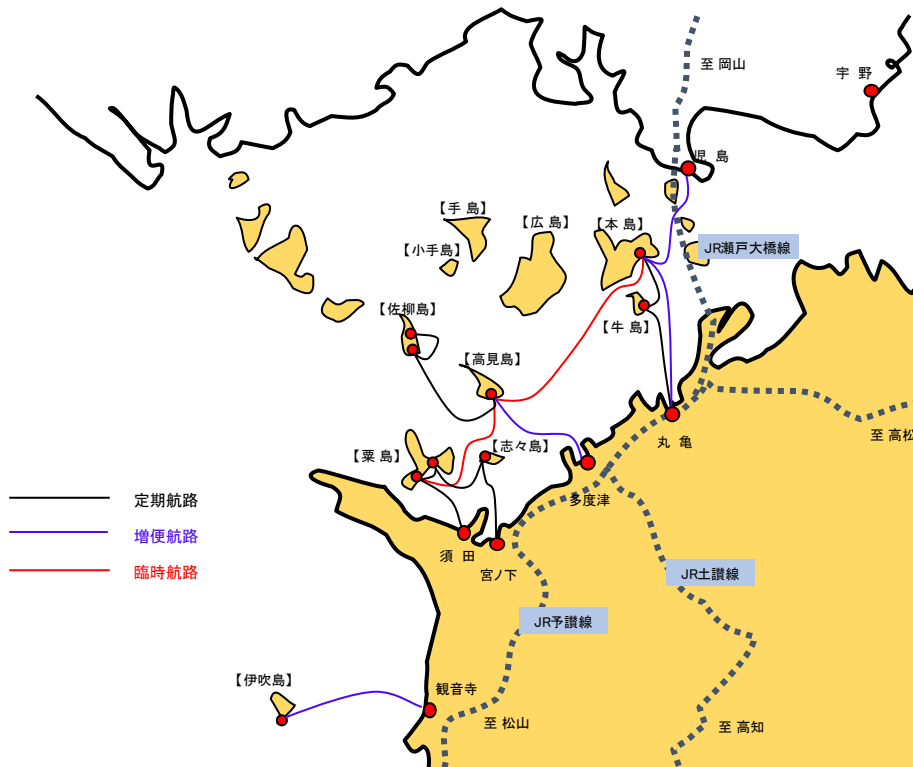
- 芸術祭の開催にあわせ、来場者の交通アクセスの向上を図るため、会場となる島々を結ぶ航路やマザーポートとなる高松港と島々を結ぶ航路、また、中西讃の会場となる島々と本土をつなぐ航路において、新規定期航路（臨時航路）の開設や、既存定期航路の増便を行った。
- 会期中の来場者が多い日については、関係する航路で付け船や臨時便での対応等を各事業者において実施し、一部航路では旅客定員の拡大による対応も実施した。
- さらに、一部の高速船便や旅客船便では、乗船時の混雑緩和のため、整理券の発行を行うなど、来場者がスムーズに乗船できるよう運用面での対応も図った。
- また、高松港や会場となる島の港において、案内誘導看板を設置するとともに、案内スタッフを配置したほか、混雑情報等の提供（アートナビ、大型ディスプレイ等）や高松港では周辺マップを配布するなど、来場者の円滑な誘導、混雑緩和を図った。

会期中の航路図

■航路図(7島)



■航路図(中西譜)



■新規定期航路(臨時航路)と既存航路の増便

1便=1往復

		運航区間	会期中 便数/日	通常時 便数/日	運航事業者
春	臨時航路	小豆島(土庄)⇔直島(宮浦)	2	—	小豆島急行フェリー
		小豆島(土庄)⇔犬島	3	—	小豆島急行フェリー
		高松⇔豊島(唐櫃)	4	—	豊島フェリー
		【午前便】高松→小豆島(坂手)→直島(本村)→豊島(唐櫃)→小豆島(土庄東)→直島(本村)→小豆島(坂手) 【午後便】小豆島(坂手)→小豆島(土庄東)→直島(本村)→小豆島(土庄東)→豊島(唐櫃)→直島(本村)→小豆島(土庄東)→小豆島(坂手)→高松 *1	1	—	直島-豊島ライン (ジャンボフェリー)
		高松⇔大島 *2	3	—	高松海上タクシー
	増便	高松⇔直島(宮浦)	10	9	四国汽船
		高松⇔直島(本村)⇔豊島(家浦)	6	4	豊島フェリー
		直島(本村)⇔豊島(家浦)	5	—	
		宇野⇔豊島(家浦)⇔豊島(唐櫃)⇔小豆島(土庄) *3	10	9	小豆島豊島フェリー
	夏	臨時航路	小豆島(土庄)⇔直島(宮浦)	2	—
小豆島(土庄)⇔犬島			3	—	小豆島急行フェリー
高松⇔豊島(唐櫃)			4	—	豊島フェリー
【午前便】高松→小豆島(坂手)→直島(本村)→豊島(唐櫃)→小豆島(土庄東)→直島(本村)→小豆島(坂手) 【午後便】小豆島(坂手)→小豆島(土庄東)→直島(本村)→小豆島(土庄東)→豊島(唐櫃)→直島(本村)→小豆島(土庄東)→小豆島(坂手)→高松 *1			1	—	直島-豊島ライン (ジャンボフェリー)
高松⇔大島 *2			3	—	高松海上タクシー
増便		高松⇔直島(宮浦)	10.5	9	四国汽船
		高松⇔直島(本村)⇔豊島(家浦)	6	4	豊島フェリー
		直島(本村)⇔豊島(家浦)	5	—	
		宇野⇔豊島(家浦)⇔豊島(唐櫃)⇔小豆島(土庄) *3	10	9	小豆島豊島フェリー
		高松⇔女木島⇔男木島 *4	12	6	雌雄島海運
秋	臨時航路	小豆島(土庄)⇔直島(宮浦)	2	—	小豆島急行フェリー
		小豆島(土庄)⇔犬島	3	—	小豆島急行フェリー
		高松⇔豊島(唐櫃)	4	—	豊島フェリー
		【午前便】高松→小豆島(坂手)→直島(本村)→豊島(唐櫃)→小豆島(土庄東)→直島(本村)→	1	—	直島-豊島ライン (ジャンボフェリー)

	男木島→小豆島(坂手) 【午後便】小豆島(坂手)→小豆島(土庄東)→豊島(唐櫃)→男木島→直島(本村)→豊島(唐櫃)→小豆島(土庄東)→小豆島(坂手)→高松 *1			
	高松⇄大島 *2	3	—	高松海上タクシー
	本島⇄高見島	6	—	にじ観光
	高見島⇄栗島	6	—	にじ観光
増便	高松⇄直島(宮浦)	10.5	9	四国汽船
	高松⇄直島(本村)⇄豊島(家浦)	6	4	豊島フェリー
	直島(本村)⇄豊島(家浦)	5	—	
	宇野⇄豊島(家浦)⇄豊島(唐櫃)⇄小豆島(土庄) *3	10	9	小豆島豊島フェリー
	丸亀⇄牛島⇄本島	11	9	本島汽船
	児島⇄本島	6	4	六口丸海運
	多度津⇄高見島	5	4	三洋汽船
	観音寺⇄伊吹島	6	4	伊吹丸事務所

*1 予約制、土日祝(11月3日は除く)及び8月12日～16日のみ運航

*2 国立療養所大島青松園及び瀬戸内国際芸術祭実行委員会が運航委託

*3 宇野—豊島(家浦)間 土日月祝及び8月12日～16日のみ増便

*4 高松—女木島間 8月1日～20日のみ増便

(2) 島内交通の整備

- 海上交通の整備にあわせ、各島内での来場者の交通手段を確保するため、主要港と作品会場等を結ぶバス路線の増強を図った。
- 会場となる各島の案内所等においては、レンタサイクル等の情報を提供した。

■新規路線(臨時路線)と既存路線の追加等

1便=1往復

		運行区間	便数/日	運行事業者
春	新規	【直島】 宮浦港⇄地中美術館→つつじ荘→南寺→宮浦港 *1	12.0	大川バス
		【豊島】 家浦港⇄唐櫃港⇄甲生⇄家浦港 (循環)	20.0	小豆島交通
		【小豆島】 土庄港⇄福田港 (瀬戸内国際芸術祭線)	6.0	小豆島オーリーブバス
	追加	【小豆島】 草壁港⇄映画村	3.0	小豆島オーリーブバス
		【小豆島】 池田港⇄神浦西	4.0	小豆島町
夏	新規	【直島】 宮浦港⇄地中美術館→つつじ荘→南寺→宮浦港 *2	12.0	大川バス
		【豊島】 家浦港⇄唐櫃港⇄甲生⇄家浦港 (循環)	28.0	小豆島交通
		【小豆島】 土庄港⇄福田港 (瀬戸内国際芸術祭線)	6.0	小豆島オーリーブバス
	追加	【小豆島】 草壁港⇄映画村	3.0	小豆島オーリーブバス
		【小豆島】 池田港⇄神浦西	4.0	小豆島町
		【女木島】 鬼の館⇄鬼ヶ島大洞窟 *3	4.0	鬼ヶ島観光自動車
		【女木島】 鬼ヶ島大洞窟⇄西浦	9.0	鬼ヶ島観光自動車
秋	新規	【直島】 宮浦港⇄地中美術館→つつじ荘→南寺→宮浦港 *4	12.0	大川バス
		【豊島】 家浦港⇄唐櫃港⇄甲生⇄家浦港 (循環)	28.0	小豆島交通
		【小豆島】 土庄港⇄福田港 (瀬戸内国際芸術祭線)	6.0	小豆島オーリーブバス
		【本島】 本島⇄屋釜浜 (循環)	8.0	琴参バス
	追加	【小豆島】 草壁港⇄映画村	3.0	小豆島オーリーブバス
		【小豆島】 池田港⇄神浦西	4.0	小豆島町
		【女木島】 鬼の館⇄鬼ヶ島大洞窟	4.0	鬼ヶ島観光自動車
		【女木島】 鬼ヶ島大洞窟⇄西浦	9.0	鬼ヶ島観光自動車

*1 春会期は土日祝のみ運行

*2 7月18日、8月11日～15日は13.0便運行

*3 8月1日～20日はさらに4.0便追加

*4 10月8日～10日は13.0便運行

(3) 本土側港付近の交通整備

- 本土側においては、会場の島々の玄関口となる各港とその最寄り駅である JR 線の各駅等を結ぶシャトルバスも運行した。

■ 芸術祭会場となる島の玄関口となる各港への臨時バス路線

1 便=1 往復

	運行区間	便数/日	運行事業者
春	【犬島】 JR 岡山駅⇨宝伝港	3.0	両備バス
	【沙弥島】 JR 坂出駅⇨東山魁夷せとうち美術館	9.0	琴参バス
夏	【犬島】 JR 岡山駅⇨宝伝港	3.0	両備バス
秋	【犬島】 JR 岡山駅⇨宝伝港	3.0	両備バス
	【高見島】 JR 多度津駅⇨多度津港	6.0	多度津町
	【粟島】 経面駐車場⇨須田港	15~30 分毎	地元事業者 4 社
	【粟島】 JR 詫間駅⇨須田港	30~60 分毎	地元事業者 4 社
	【伊吹島】 有明グラウンド駐車場⇨観音寺港	13.0	西讃観光バス
	【伊吹島】 JR 観音寺駅⇨観音寺港	10.0	西讃観光バス

- 自家用車等での来場に対応するため、高松港をはじめ中西讃の各港付近に臨時駐車場を開設した。

■ 芸術祭会場への各港付近の芸術祭専用無料駐車場

	会場	場所	駐車場名称	台数	備考
春	高松港	高松港	サンポート高松B2街区	140	作品鑑賞パスポート提示 要
			サンポート高松A1街区	360	作品鑑賞パスポート提示 要
	沙弥島	沙弥島	瀬戸大橋記念公園西駐車場	258	
			瀬戸大橋記念公園東駐車場	122	
瀬戸大橋記念公園北駐車場			50		
瀬戸大橋記念公園球技場駐車場			50		
夏	高松港	高松港	サンポート高松B2街区	140	作品鑑賞パスポート提示 要
			サンポート高松A1街区	360	作品鑑賞パスポート提示 要
秋	高松港	高松港	サンポート高松B2街区	140	作品鑑賞パスポート提示 要
			サンポート高松A1街区	360	作品鑑賞パスポート提示 要
	本島	丸亀港	丸亀市蓬萊町臨時駐車場	200	
			丸亀市みなと駐車場	30	
		児島港	児島港駐車場	120	
	高見島	多度津港	港岸壁駐車場	100	
			東港町駐車場	80	
			多度津町スポーツセンター駐車場	50	平日のみ
多度津町職員駐車場			100	土日祝のみ	
栗島	須田港	経面臨時駐車場	400		
伊吹島	観音寺港	有明グラウンド駐車場	200	10月15日(土)、16日(日)を除く	
		観音寺小学校駐車場	100	10月15日(土)、16日(日)のみ	

12 ツーリストへの対応

(1) インフォメーションセンター・案内所の運営

- 高松港、宇野港、直島宮浦港において、インフォメーションセンターを設置し、チケット等の販売をはじめ、来場者に対して芸術祭の総合案内を行った。
- 会場となる島々の港等には合計 41 か所の案内所を設置(ナビスポット含む)し、島内のアート作品やイベント、交通等の案内を行った。

(2) 外国人来場者対策の強化

- 高松港の総合インフォメーションセンターにおいて、英語・中国語・韓国語の問い合わせに対応できるスタッフを配置したほか、直島インフォメーションセンターや主要航路において、英語対応スタッフを配置した。
- 案内所等(インフォメーションセンター、ナビスポット含む)において、翻訳機能を有するタブレット、スマートフォンを配備した。
- 公式ウェブサイトやチラシを 5 か国語対応(日、英、中(簡体字)、台(繁体字)、韓)したほか、公式ガイドブックについても、英語版を発行した。また、緊急・混雑情報等をリアルタイムで表示する機能等を搭載した公式アプリケーションについても、英語での対応を行った。

(3) 緊急情報等の提供

- 芸術祭の運営に関する緊急情報をはじめ、作品・施設や交通機関の混雑情報や休館情報(アートナビ)を、インフォメーションセンターや案内所等 40 か所に設置した大型ディスプレイに掲出するとともに、公式ウェブサイトや公式アプリケーションにおいてリアルタイムの情報提供に努めた。

(4) 無料 Wi-Fi スポットの設置

- 会場となる島々の案内所や高松港、宇野港のほか、本土側の港や JR 駅等の案内所等 53 か所に無料 Wi-Fi スポットを設置し、外国人をはじめ来場者がインターネットに接続できる環境を整えた。

(5) 主な情報提供ツール

① 公式アプリケーション

- アート作品情報、現在位置情報を地図上に表示するとともに、航路・島内バスの時刻表検索、緊急・混雑・休館情報のリアルタイム表示等の機能を搭載したアプリケーションを iOS 及び Android それぞれの OS 用にリリースした。
- 併せて、英語版を作成し、外国人への情報提供を強化した。

・ iOS 版ダウンロード数内訳

	新規ダウンロード数	更新ダウンロード数
春会期	2,110	2,874
夏会期	3,284	6,083
秋会期	942	6,592
計	6,336	15,549
総計		21,885

・ Android 版ダウンロード数内訳

	新規ダウンロード数	更新ダウンロード数
春会期	729	346
夏会期	1,014	619
秋会期	520	916
計	2,263	1,881
総計		4,144

② ガイドマップ

- 各島の作品周辺の地図を掲載したガイドマップを作成し、現地のサイン看板と併せて活用することで、作品へのアクセス向上につながった。

③ 交通アクセスマップ

- 芸術祭会場への全航路、会場となる島の島内交通等を集約し、複雑な交通体系を要約した「瀬戸内国際芸術祭 2016 交通アクセスマップ」及び「中西讃交通アクセスマップ」を無料で配布したことで、島へのアクセス向上につながった。
- 高松港では、周辺マップを配布し、鉄道駅とフェリー・高速船乗り場との間の来場者の円滑な誘導を図った。

(6) 手荷物預かりサービス

- 高松港総合インフォメーションセンターで、芸術祭来場者の手荷物を県内宿泊施設まで届けるバゲッジデリバリーサービスを実施したほか、高松港周辺等にはコインロッカーを増設するなど、旅行客の手荷物預かりに関するサービスを提供した。

(7) 車椅子の無料貸し出し

- 障害者や高齢者等の移動補助として、県内企業から無償提供された車椅子を 12 か所のインフォメーションセンター及び案内所で無料で貸出し、会場内移動の円滑化に努めた。

(8) 旅行商品・ツアーの造成

- 旅行代理店に対して、旅行商品及びツアーの造成を働きかけ、36 件の造成が図られた。

13 チケット・グッズ等

(1) 作品鑑賞パスポート

- 作品鑑賞パスポートの販売実績は、84,208枚となった。
- その内訳は、一般が79,425枚（前売：40,996枚、当日：38,429枚）、高校生が649枚（前売：199枚、当日：450枚）、芸術祭会場の島民を対象に販売した島民パスポートが4,134枚となった。
- このほか、香川県及び岡山県の高校生全員を対象に配布した無料引換券により交付したパスポートが1,630枚であった。
- また、中学生以下の子どもたちが芸術祭の作品を楽しく巡ることができるよう「こどもパスポート」を作成し、案内所等で無償配付した。

作品鑑賞パスポート(左から一般、高校生、こどもパスポート)



(2) フェリー乗り放題3日間乗船券

- 来場者の利便性の向上や乗船窓口付近での混雑緩和を図るとともに、中長期の滞在にも活用できるよう、関係旅客船事業者7社の協力による「瀬戸内国際芸術祭2016期間限定 フェリー乗り放題3日間乗船券」を発行した。
- 芸術祭の玄関となる高松港と宇野港から会場となる島を結ぶ航路及び各島同士を結ぶ航路のうちフェリー便（8航路11区間、1日約67便）を対象とした。
- 来場者が購入しやすくするため、前売価格を設定したほか、コンビニエンスストア等への販路も拡大した。
- 芸術祭期間中、15,540枚の利用があった。

(3) 瀬戸内の名産品リデザインプロジェクト

- デザイナーとの協働により、地域の名産品のパッケージ等のデザインをリニューアルすることで、芸術祭来場者に向けた土産物としての魅力を高めた。
- 9品目の10種類に新しいパッケージデザインを施し、2010年及び2013年に開発した13品目38種類とともに、会期中、高松港・直島宮浦港・宇野港の各インフォメーション内に併設した芸術祭公式ショップなどで販売した。

14 寄付・協賛の取組み

- 瀬戸内国際芸術祭にできるだけ多くの個人、企業、団体等に関わりを持ってもらうとともに、芸術祭の安定的な運営のための財源等を確保するため、個人や企業等から幅広く応援を求める取組みを強化した。
- 現金による寄付協賛として、企業・団体から 215 件／193,667 千円の寄付協賛が、個人から 227 件／1,998 千円の寄付があった。
- また、現物協賛として現金換算で 15 件／22,195 千円相当の協賛があった。
- 新たに創設した「瀬戸内国際芸術祭 2016 パートナー」として 8 企業・団体を、また「瀬戸内国際芸術祭 2016 プロモーションパートナー」として 1 企業を、それぞれ決定した。

項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	計
現金による寄付協賛	企業	11件	189件	15件	215件
		4,077千円	164,609千円	24,981千円	193,667千円
	個人	0件	205件	22件	227件
		0千円	1,646千円	352千円	1,998千円
小計		11件	394件	37件	442件
		4,077千円	166,255千円	25,333千円	195,665千円
現物による寄付協賛		0件	14件	1件	15件
		0円	21,811千円	384千円	22,195千円
計		11件	408件	38件	457件
		4,077千円	188,066千円	25,717千円	217,860千円

15 実行委員会の収支状況（見込み）

1 収入

（単位：百万円）

区分	26年度 決算	27年度 決算	28年度 決算見込み	芸術祭2016	
				決算見込み	収支計画
負担金	24	297	297	618	618
香川県	10	95	95	200	200
関係市町	14	107	107	228	228
福武財団		95	95	190	190
補助金・助成金	10	93	114	217	183
寄付金・協賛金	4	162	24	190	176
チケット・グッズ等販売収入		95	197	292	249
その他	47	3	21	71	50
小計	85	650	653	① 1,388	1,276
前年度繰越金	0	51	239	—	—
合計	85	701	892	—	—

2 支出

（単位：百万円）

区分	26年度 決算	27年度 決算	28年度 決算見込み	芸術祭2016	
				決算見込み	収支計画
アートプロジェクト費	20	268	402	690	704
作品制作費等	20	240	314	574	583
イベント開催費		28	88	116	121
運営活動費	14	147	302	463	483
広報活動費	2	87	72	161	169
交通対策費		2	29	31	32
会場運営費等		37	169	206	216
事務局運営費	12	21	32	65	66
チケット・グッズ制作費等		47	38	85	89
小計	34	462	742	② 1,238	1,276
次年度繰越金	51	239	③ 150	—	—
合計	85	701	892	—	—

収支差額①－②＝③

150

16 他地域との連携

瀬戸内国際芸術祭 2016 の開催効果を香川県内全域や他の瀬戸内地域に波及させるため、県内や瀬戸内地域で実施されるアートイベント等で、瀬戸内国際芸術祭と連携することにより相乗効果が期待できるものについて、「パートナーシップ事業」及び「広域連携事業」として選定した。

(1) パートナーシップ事業

- 香川県内全域の活性化を促進するため、県内で開催されるアートイベントを「瀬戸内国際芸術祭 2016 パートナーシップ事業」として公募し、20 件の事業と相互連携を行った。

開催地域	パートナーシップ事業名
広域	かがわ文化芸術祭 2016
広域	かがわ・山なみ芸術祭 2016
広域	さぬき映画祭×瀬戸内国際芸術祭 2016
東かがわ市	第 6 回世界の人形祭
東かがわ市	フィールドミュージアム SA・NU・KI2016
さぬき市・東かがわ市	さぬき・東かがわジオサイトクルーズ
さぬき市	Children Art Project OHOKUSHI
三木町	獅子たちの里 三木まんで願。
高松市	サンポートジャズフェスティバル 2016
高松市	うどんフェス 2016
高松市	心を豊かにするデザインの歴史～讃岐民具連とその時代～
高松市	マエカブ演劇フェスティバル
高松市	まちなかパフォーマンス事業
土庄町	3 万 4000 人のキャンドルナイト in 小豆島
土庄町	淵崎村里プロジェクト 2016
坂出市	坂出アートプロジェクト 2016
坂出市	藏本利彦・藏本秀彦絵画展
丸亀市	「るるる」～くる、つくる、みる～
善通寺市	日本の太鼓フェスティバル
琴平町	四国こんびら歌舞伎大芝居

- 公式ガイドブックや公式ウェブサイトで事業紹介するとともに、案内所等でのチラシ等の配布、冠呼称の使用承認のほか、県においても専用パンフレットを作成し、

スタンプラリーを実施した。

(2) 広域連携事業

- 国内外に対して瀬戸内地域の情報発信をより効果的に行うため、瀬戸内国際芸術祭 2016 と同時期に他の瀬戸内地域で実施されるアートイベントを「瀬戸内国際芸術祭 2016 広域連携事業」として公募し、12 件の事業と相互連携を行った。

開催地域	広域連携事業名
岡山県瀬戸内市	瀬戸内市立美術館「近藤高弘 生水ーうつろいゆくうつわー」
岡山県岡山市	おかやま国際音楽祭 2016
岡山県真庭市	まにわ映像フェスティバル 2016/勝山町並み・体験クラフト市 2016
岡山県岡山市	岡山芸術交流 Okayama Art Summit 2016
岡山県備前市	第 34 回備前焼まつり
岡山県内全域	アートプロジェクトおかやま
兵庫県赤穂市	瀬戸内赤穂芸術祭 2016 in 桃井ミュージアム
広島県竹原市	～ぶらまちアート～歴史・町・広島竹原芸術祭
徳島県牟岐町	牟岐・出羽島アート展 2016
愛媛県砥部町	秋の砥部焼まつり 2016
高知県高知市	高知パフォーミング・アーツ・フェスティバル 2016
山口県宇部市	第 27 回 U B E ビエンナーレ (現代日本彫刻展)

- 公式ガイドブックや公式ウェブサイトで事業紹介するとともに、高松港総合インフォメーションセンター等でチラシ等の配布を行った。
- 特に、国内で最も伝統のある現代日本彫刻展を開催している宇部市とは、連携協定を締結し、第 27 回 U B E ビエンナーレにおいて大賞を受賞した竹腰耕平氏を、瀬戸内国際芸術祭 2016 に招待して、小豆島大部にて「小豆島の木」を制作した。